SPACE DiVA

CS 音楽放送専用チューナー

SDR-2A

取扱説明書

本製品は精密放送機器です。

安全に正しくお使いいただくために、本書をよくお読みになりご使用ください。

お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

はじめに

本機は、SPACE DiVA音楽放送専用チューナーです。
SPACE DiVA受信用アンテナを通信衛星JCSAT-2Aに向けて設置し、同梱のスマートカードを本機背面に挿入し、契約をいただきますとお手持ちのアンプ、スピーカーに接続するだけでSPACE DiVAの音楽放送をお楽しみいただけます。(無料チャンネルは契約しなくてもお聴きいただけます)

CSテレビ放送やBSテレビ放送の受信はできませんのでご注意ください。
本サービスは日本国内向けです。国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

使用上のご留意点

・聴取契約をおこなわないと無料チャンネル以外は聴取できません

本機をお買い上げ後は、SPACE DiVA と聴取契約をおこなってください。なお、契約されていないチャンネルは聴取できません。ただし、無料チャンネルは聴取できます。

・本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数（950MHz～2150MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で音声に不具合が生じる場合がありますのでそれらの機器とは離してご使用ください。

また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、シールド性の良い CS 放送対応のものをご使用ください。

・操作できなくなった場合は

受信異常等により本機の操作ができなくなった場合は、本機前面にあるリセットスイッチを先の細いもので押してください。

・本機に同梱しているスマートカード以外のものを挿入しないでください

SPACE DiVA 専用スマートカード以外のものを挿入すると、本機が故障したり破損したりすることがあります。

・本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、SPACE DiVA の情報を受信しています。

スタンバイ中に本機の情報を自動で更新する場合、ディスプレイに更新状況等が表示されることがありますが、誤動作ではありません。

ご注意

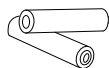
●個人向けサービスSPACE DiVAについて、本サービスを利用して個人で楽しむ目的以外の目的をもって利用・複製すること、および本サービスをBGM等業務用に利用すること、また、事業所・学校・病院など不特定多数の方が聴取できる環境にて再生することはできません。

もくじ

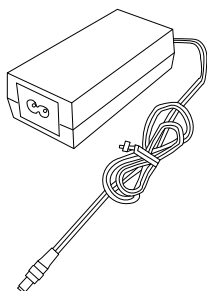
付属品の確認

接続・設置の前に、下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

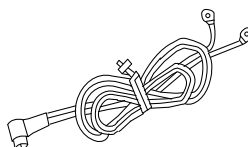
ステレオピンコード（1 本）

リモコン用単 4 型電池（2 本）

スマートカード（1 枚）

リモコン（1 個）

AC アダプタ（1 個）

AC 側ケーブル（1 本）

取扱説明書（1 部）：本書

FM アンテナケーブル（1 本）

○上記の他に以下のものが同梱されています。

・受信機 ID 番号ラベル、スマートカード番号ラベル（各 2 枚）、ケーブル留め（1 本）

○付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。

○同梱されている AC アダプタ・電源コードは、本機以外の製品にはご使用になれません。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

※表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警 告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注 意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

※お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

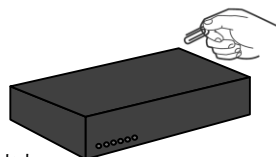
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

ご使用について

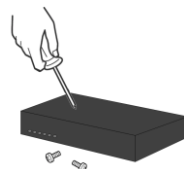
機器の上に、液体の入った容器や小さな金属物を置かない

●機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れない

●感電の原因になります。
●特にお子様にはご注意ください。

水をかけたり、濡らしたりしない

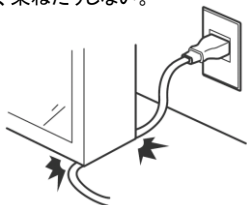
●ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
●水が入ったときは、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

分解したり、修理・改造をしない

分解禁止
●内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
●内部の点検や修理は、販売店へご相談ください。

⚠ 警 告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない。

●傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

●プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、　火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

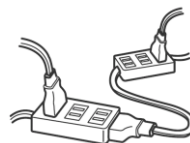
電源プラグは根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

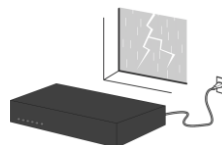
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

●たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

雷について

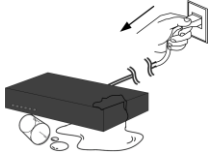
雷が鳴ったら、アンテナ線や機器に触れない

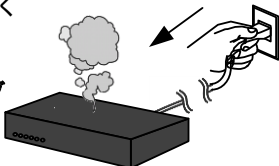
接触禁止

●感電のおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）　必ずお守りください

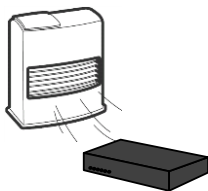
⚠警告

異常が起こったら

機器内部に金属や水、異物が入ったら、電源プラグを抜く

- ●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- ●販売店にご相談ください。

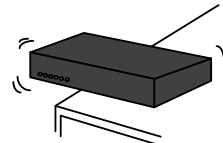
煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く

- ●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- ●販売店にご相談ください。

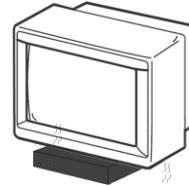
設置・接続について

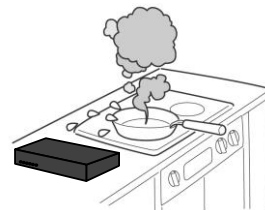
異常に温度が高くなるところに置かない

- ●機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ●直射日光が当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

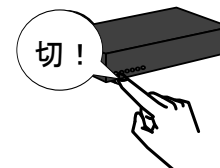
⚠注意

設置・接続について

不安定な場所に置かない

- ●機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

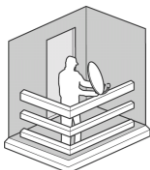
機器の上に大きいものや重いものを載せない

- ●倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湿気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- ●電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

接続前に接続する全ての機器の電源を切っておく

- ●電源が入った状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因になることがあります。

⚠ 注 意

アンテナについて

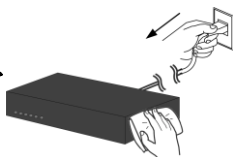
アンテナの設置・工事は販売店にご相談ください

- アンテナの工事には、技術と経験が必要です。
- 強風でアンテナが倒れた場合に感電やけがの原因になることがあります。
- CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く

- 入れたままにしておくと、感電の原因になることがあります。

アルコール・シンナー等を使用しない

- お手入れの際にはアルコールやシンナー等は使用しないでください。変形・変色の原因になります。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動すると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかるなどして、けがの原因になることがあります。

機器の上面に他の機器や物などを乗せ、通気孔をふさがない

- 機器の通気孔をふさぐと内部の温度が上昇し、故障の原因となります

乾電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

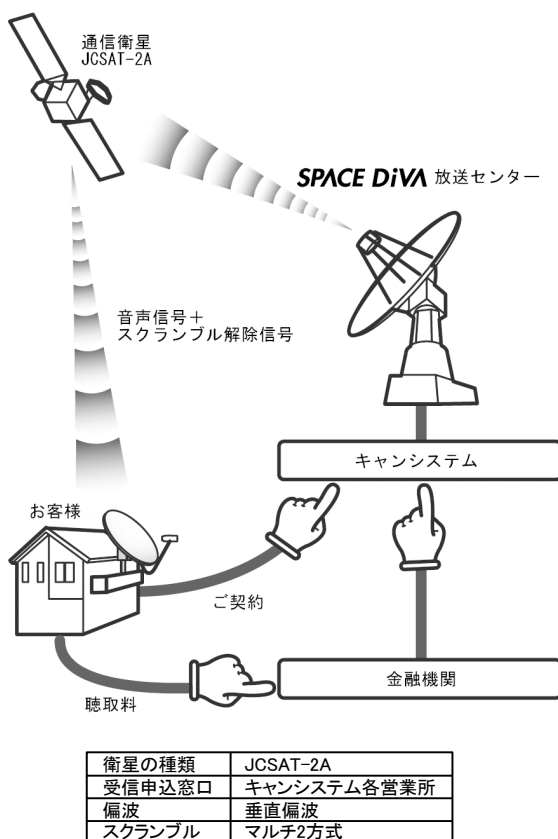
- **＋と－は正しく入れる**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取りだしておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使用しない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

SPACE DiVA　音楽放送について

SPACE DiVA 音楽放送は、通信衛星（Communication Satellite）JCSAT-2A を利用して、多種多様な番組をお届けする有料放送です。

番組はこのように供給されています。

衛星の種類	JCSAT-2A
受信申込窓口	キャンシステム各営業所
偏波	垂直偏波
スクランブル	マルチ2方式

電波障害について

○衛星の電波は直進する性質が有ります。障害物があると受信できません。

○雨雲があり強い降雨や降雪があると電波が弱くなり、受信できなくなることがあります。

○水分を多く含んだ雪がアンテナに直接積もった場合、受信できなくなることがあります。

受信契約をする

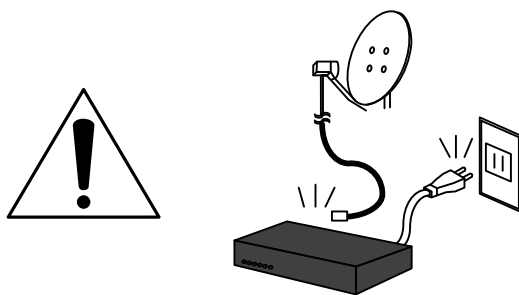
SPACE DiVA 音楽放送は有料放送です。

電波には盗聴防止のためスクランブル（暗号）がかかっています。

ご注意

●ご契約に関してはキャンシステム各営業所にて行っております。
別紙のキャンシステム株式会社営業所一覧をご参照の上、最寄の営業所へお問い合わせください。

⚠ 注 意

長期間受信しないと
「A006」または「A009」
と表示され、音声が出なくなる場合があります。

アンテナ同軸ケーブルが外れていたり、又は電源コードが外れていて長期間受信をしていない場合は、セキュリティー上番組聴取が出来なくなる場合があります。
その場合は最寄りの営業所、またはカスタマーセンターまでご連絡ください。

尚、上記理由からも、長期間ご使用にならない場合を除き、コンセントから電源コードを抜かない事をお勧め致します。

各部のなまえとはたらき

この取扱説明書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

同種のボタンが本体にもある場合は、本体での操作も可能です。

リモコン

①電源ボタン（32、34 ページ）

本機の電源をオン／オフします。

（オフ＝スタンバイモード）

②数字 0~9 ボタン

チャンネル番号や数値を直接入力します。

③Ex1 ボタン

⑯の A,B,C 各ボタンと組み合わせて使用します。

④外部入力ボタン　（35 ページ）

外部入力(LINE IN)へ切り替えます。

⑤戻るボタン

メニューモードを終了、または前のモードへ戻ります。

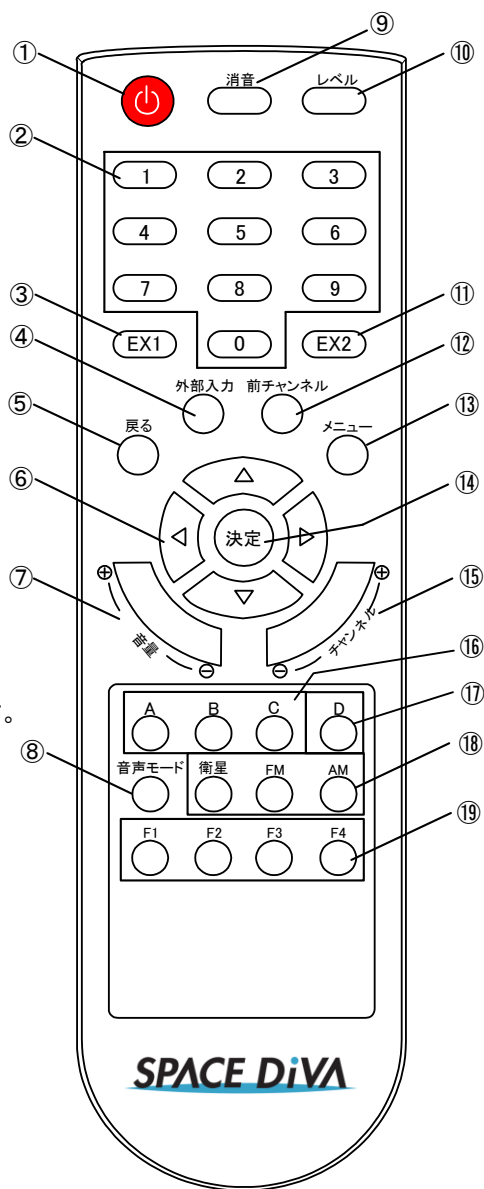
⑥▲▼◀▶　（上下左右）ボタン

項目の移動や設定値の選択をします。

⑦音量 +/- ボタン（34 ページ）

音量を調整します。

⑧音声モードボタン（35 ページ）

ステレオ／モノラル音声を切り替えます。

⑨消音ボタン（34 ページ）

消音します。

⑩レベルボタン（31 ページ）

受信レベルを表示します。

⑪Ex2 ボタン

使用しません。

⑫前チャンネルボタン（33 ページ）

直前に受信していたチャンネルに戻ります。

⑬メニューボタン

メニューモードを表示させたり、各種メニュー表示を消すことができます。

⑭決定ボタン

項目の決定や、選択事項を実行します。チャンネル表示と時計表示を切り替えできます。

⑮チャンネル +/- ボタン（33 ページ）

チャンネルを切り替えます。長押しすることでチャンネルが 10 チャンネルずつスキップします。

⑯ A,B,C ボタン

③Ex1 ボタンを押し、続けて A～C のいずれかのボタンを押すと、以下の機能が使用できます。

押すたびに設定のオン／オフが切り替わります。

Ex1 ボタンを押したあと

A ボタンを押す　→　全てのチャンネルの音声を常時「オフ」にします。

B ボタンを押す　→　選択しているチャンネルの音声を常時「オフ」にします。

C ボタンを押す　→　リモコンおよび本体のすべてのボタン操作を無効にします（キーロック）。

⑰ D ボタン（51 ページ）

スリープタイマー機能に使用します。

⑱ 衛星,FM,AM ボタン

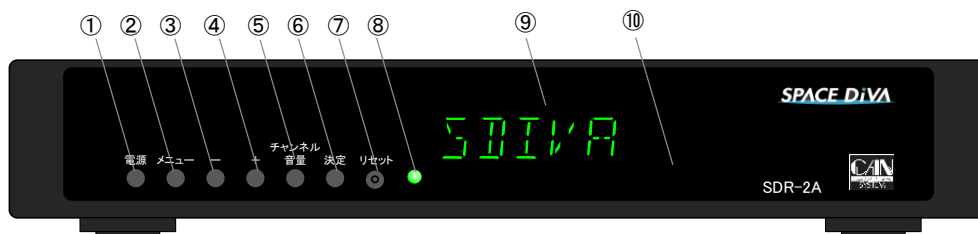
衛星／ラジオを切り替えます。(57 ページ)

⑲ F1,F2,F3,F4 ボタン

F1 ボタンを押すと CM1 が再生されます。

F2 ボタンを押すと CM2 が再生されます。

本機

前面

①電源ボタン(32、34 ページ)

本機の電源をオン／オフします。

(オフ＝スタンバイモード)

②メニューボタン

メニューモードを表示させたり、各種メニュー表示を消すことができます。

③—(マイナス)ボタン(左操作)

メニューモード：項目を移動したり、設定値を選択します。

チャンネルモード：チャンネルを切り替えます。

長押しすることでチャンネルが 10 チャンネルずつスキップします。

音量変更モード：ーボタンを押すことで音量が下がります。

④＋(プラス)ボタン(右操作)

メニューモード：項目を移動したり、設定値を選択します。

チャンネルモード：チャンネルを切り替えます。

長押しすることでチャンネルが 10 チャンネルずつスキップします。

音量変更モード：＋ボタンを押すことで音量が上がります。

⑤チャンネル／音量ボタン

チャンネル表示と音量表示を切り替えます。

⑥決定ボタン

項目の決定や、選択事項を実行します。チャンネル表示と時計表示を切り替えできます。

⑦リセットスイッチ

本機を再起動します。

⑧スタンバイランプ

スタンバイ時に赤色に点灯します。

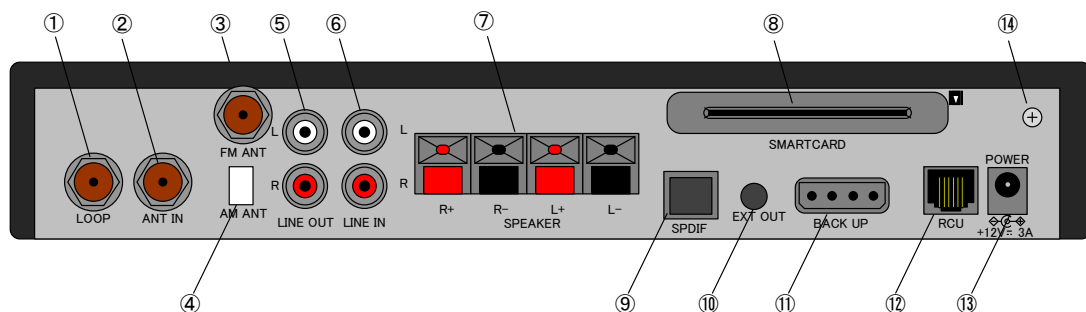
また、起動中は各種ステータスを表示します。

⑨LED ディスプレイ

各種表示をおこないます。

⑩リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

後面

①LOOP

アンテナ信号出力端子

②ANT IN

アンテナ信号入力端子

③FM ANT

FM アンテナ信号入力端子

④AM ANT

AM アンテナ信号入力端子（AM アンテナは別売り販売です。）

⑤LINE OUT

音声出力端子（音量ボタンで LINE OUT とスピーカーは同時に可変します）

⑥LINE IN

外部入力、音声入力端子

⑦SPEAKER

スピーカー接続端子（インピーダンス８Ω）

⑧SMART CARD

付属のスマートカードを差し込みます。

⑨SPDIF

SPDIF 光出力端子

⑩EXT OUT

3.5㎜ 外部音声出力端子

⑪BACK UP

バックアップ機器電源供給用端子

⑫RCU

リモートコントロール端子（特別なサービスでの使用となります）

⑬POWER

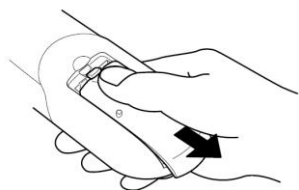
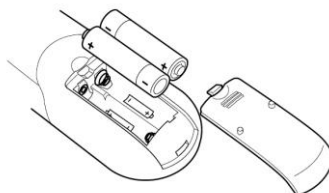
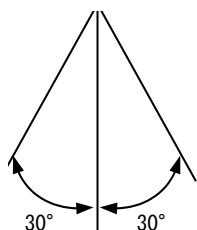
AC アダプタを接続します。

⑭ケーブル留め固定

付属のケーブル留めを固定します。

リモコンの準備

乾電池の入れかた

リモコンのふたを開けます。

付属の乾電池（単 4 型）2 本をマイナス側（バネのある側）から入れ、ふたを閉めます。

リモコンの使用範囲

正面で約 7m

（使用範囲は角度により異なります。）

お願い

●リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

●リモコン受光部とリモコン先端にほこりなどが付着しないようご注意ください。

●本機をオーディオラックなどの中に設置した場合、ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

●リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光をあてないでください。

リモコンの故障防止のために

●分解、改造をしないでください。

●重いものを載せないでください。

●直射日光の当たるところに放置しないでください。

●ジュースなど液状のものをこぼさないでください。

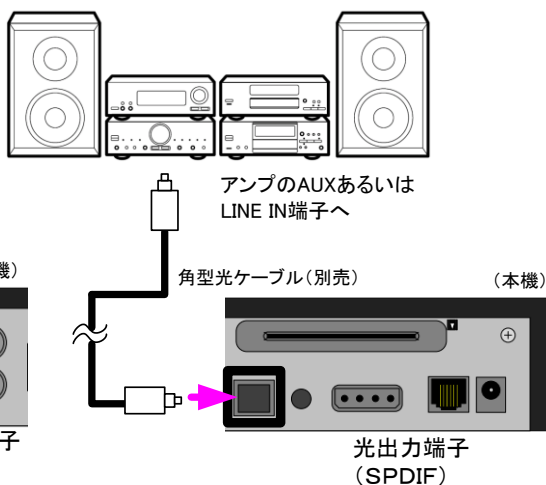
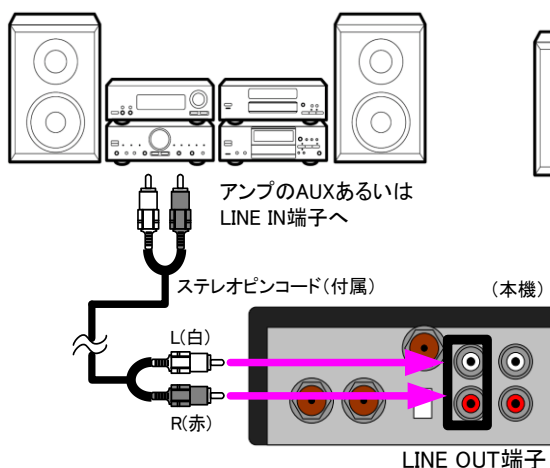
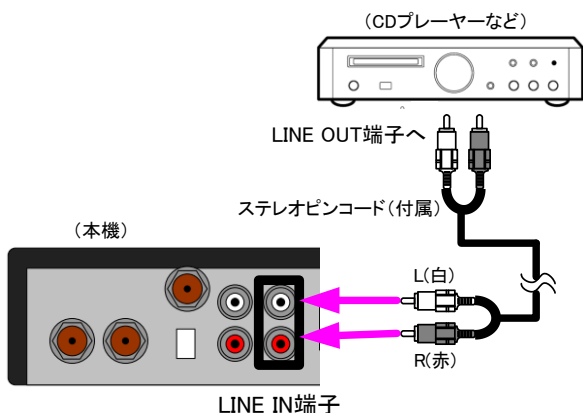
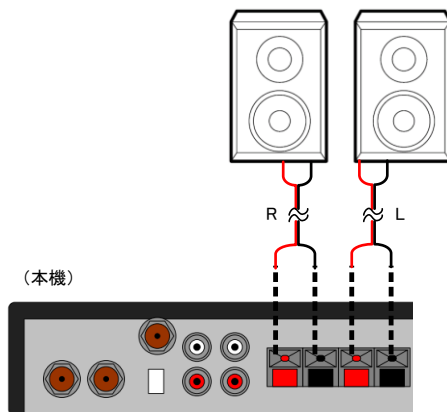
機器との接続をする

ご注意

●接続の際は、接続するすべての機器の電源をあらかじめ切っておいてください。
また本機の電源コードは、最後に接続してください。

お手持ちのオーディオ機器と接続する

●ミニコンポなどに接続する場合(アナログ） ●ミニコンポなどに接続する場合（デジタル）

※FM/AMラジオ、外部入力は対応しません。

●CDプレーヤーなどを接続する場合

●スピーカーを直接接続する場合

機器との接続をする（つづき）

スマートカードを挿入する

ご注意

●本機に同梱のスマートカードは、必ず電源コードを抜いた状態で抜き差ししてください。

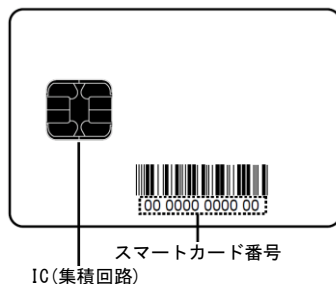
右図のように絵柄表示面を上にして、
スマートカードの矢印を挿入口方向にあわせ
挿入が止まるまでゆっくりと押し込んでください。

お願い

●本機専用のスマートカード以外のものを挿入しないでください。
故障や破損の原因となります。

●裏向きや逆方向から挿入しないでください。
挿入方向を間違えるとスマートカードは機能しません。

スマートカードについて

本機に同梱のスマートカードには１枚ごとに違う番号（スマートカード番号）が付与されています。
スマートカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。

スマートカード取り扱い上の注意点

カードを折り曲げたり、変形させないでください。
カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
カードに水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
カードの IC（集積回路）部には手を触れないでください。
カードの分解加工は行なわないでください。

カードは前ページ手順をご覧のうえ、本機後面のスマートカード挿入口に正しく挿入してください。
カードを挿入しないと、有料放送を聴取することができません。
ご使用中にスマートカードの抜き差しはしないでください。聴取できなくなる場合があります。

スマートカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくりとスマートカードを抜いてください。スマートカードには IC（集積回路）が組み込まれているため、必要な場合以外は、抜き差しをしないでください。

アンテナのセッティングをする

●アンテナは別売です。アンテナの購入・設置については販売店にご相談ください。

●アンテナの設置・接続の際には必ずアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

設置の前に　～お使いになるアンテナをご確認ください～

●アンテナは CS 放送用のものをお使いください。

●本機はあらかじめ局部発振周波数が 11300MHz に設定されています。

ご使用の LNB の局部発振周波数を変える必要がある場合、26 ページ(45 ページ)の操作で設定を変更してください。

●本機はあらかじめ LNB 電圧の設定が 11V に設定されています。

また、アンテナには偏波面電圧切替方式と偏波面固定方式があります。設置・設定の前にお使いのアンテナの種類をご確認ください。

偏波面固定方式のアンテナで LNB 電圧が DC+15V のタイプのものをご使用になる場合、LNB 偏波の設定で電圧を 15V に設定してください。変更のしかたについては26～28 ページ(45～46 ページ)をご覧ください。

※　LNB＝コンバーターです

※　局部発振周波数＝LNB の周波数（局発）です

アンテナを設置する

アンテナを設置し、「仰角」、「方位角」、「偏波面の傾き角」を調整します。

それぞれの角度はお住まいの地域によって異なります。次ページの表を参考にして最も近い地域の数値にあわせてください。

ご注意　アンテナの設置場所について

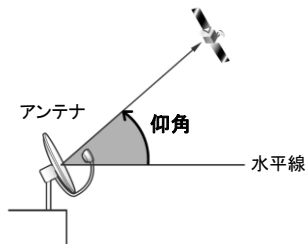
●マンションなど共同住宅の場合は、出入り口や避難設備には設置できません。また、避難経路・消防上必要な通路の邪魔にならないところに設置する必要があります。消防法・地方自治体の条例などに触れないようにご注意ください。
●アンテナ取付用のポールが垂直に立つように設置してください。角度がずれていると正しく受信できません。
●衛星の方向(南南東)が見通せる場所にしっかりと固定してください。建築物や樹木・電線等の障害物があると正しく受信できません。

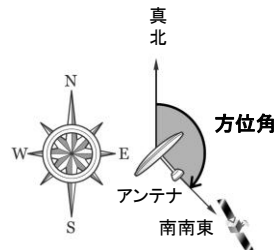
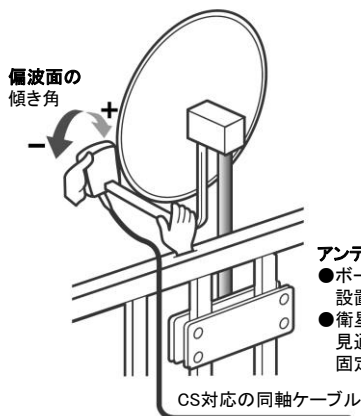
お知らせ

● SPACE DiVA音楽放送は 通信衛星JCSAT-2Aを使って放送 されています。（2014年12月現在）

アンテナのセッティングをする（つづき）

●仰角

電波のくる方向を水平面から見上げたときの角度です。
（アンテナ面の傾きとは必ずしも一致しません。）

●方位角

電波のくる方向を真北を基準に時計回りに計った角度です。

●偏波面の傾き角

アンテナ設置時の注意点
●ボールが垂直に立つように設置してください。
●衛星の方向（南南東）が見通せる場所にしっかりと固定してください。

お知らせ
●方位磁石を使う場合、磁北は真北より少し西側にずれています。（5〜9度で北へ行くほど大きい）
●偏波面固定方式のアンテナをご使用の場合、偏波面の傾き（コンバーター部の回転で調整）がV（垂直）の位置になっていることを確認してください。

方向が決まったら、角度がずれないように注意しながら各部を仮締めしてください。

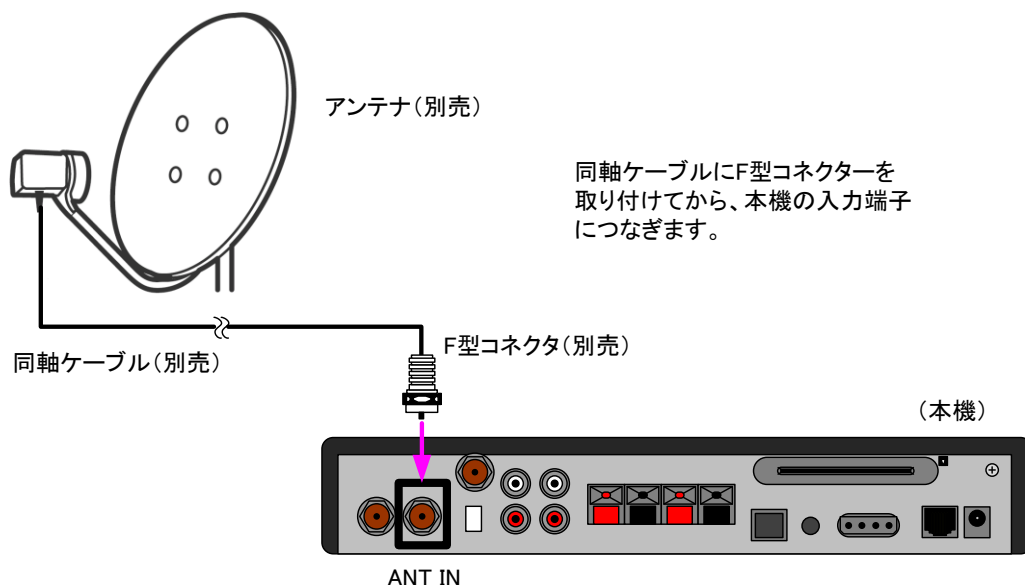
後で微調整をしますので、あまりきつく締め付けないでください。

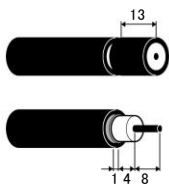
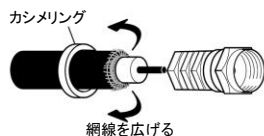
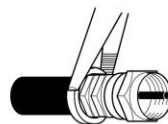
全国各地における JCSAT-2A の仰角・方位角・偏波面の傾き角（単位：度）

都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角
稚内	36	163	18	大宮	46	156	11	津	46	151	7	徳島	45	148	1
旭川	38	163	18	東京	46	157	11	大津	45	150	6	高知	45	145	2
札幌	39	162	17	千葉	46	157	12	京都	45	150	6	松山	45	146	2
函館	40	160	16	横浜	46	156	11	和歌山	45	149	5	福岡	43	142	1
青森	41	160	15	新潟	44	157	12	奈良	45	150	6	大分	45	143	0
盛岡	42	160	15	甲府	45	155	10	大阪	45	150	5	佐賀	44	141	-2
秋田	42	159	14	富山	44	153	9	神戸	45	149	5	長崎	44	140	-1
山形	43	159	13	金沢	44	152	8	鳥取	44	148	5	熊本	44	142	-1
仙台	44	159	14	福井	44	151	7	岡山	44	147	4	宮崎	46	142	-2
福島	44	159	13	岐阜	45	152	7	広島	44	145	2	鹿児島	45	140	-3
宇都宮	45	157	12	長野	45	154	10	山口	44	144	1	名瀬	47	136	-8
水戸	46	158	12	静岡	46	154	9	松江	43	147	3	那覇	48	132	-12
前橋	45	156	11	名古屋	45	152	7	高松	45	147	3	石垣	46	126	-18

アンテナのセッティングをする（つづき）

本機とアンテナを接続する

アンテナ接続の際には必ず、本機の電源コードを抜いた状態にしておいてください。

■F型コネクターの取り付けかた（参考）

注） F型コネクター以外のご使用は、外部からのノイズによる誤動作の原因となりますのでおやめください。

■CS アンテナ 1 台に本機と CS チューナーを 2 台以上接続する場合

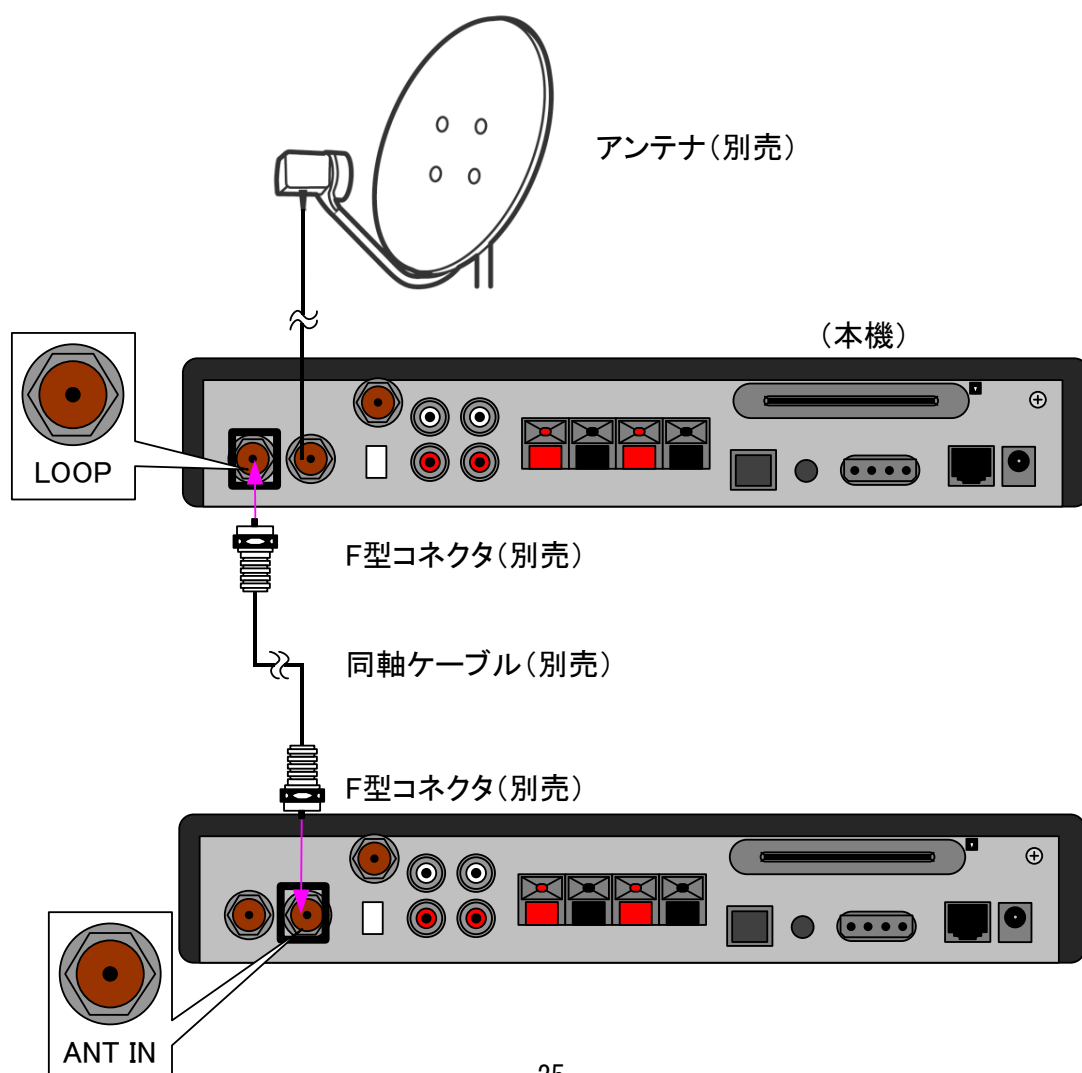
接続のしかた

下図をご参照ください。

LNB 電源設定について

1 台目は LNB 電源を「ON」、他の CS チューナーはすべて「OFF」に設定してください。

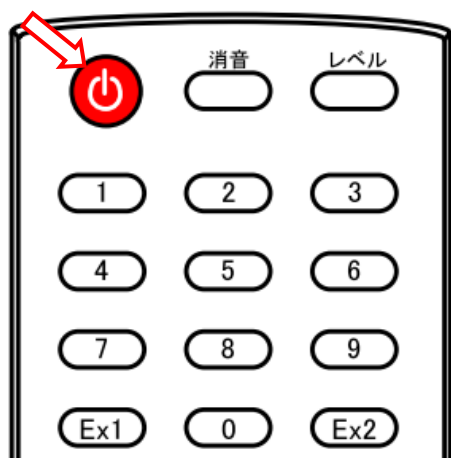
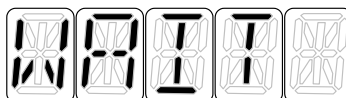
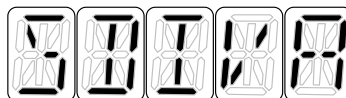
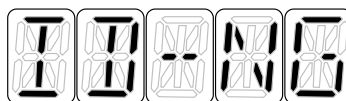
設定変更のしかたについては 45～46 ページをご覧ください。

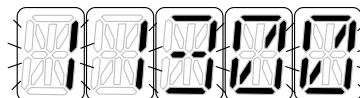
●市販の CS 分配器には「片側電流通過タイプ」のものがあります。この場合は電流通過端子側の CS チューナーの LNB 電源を「ON」にしてください。

初期設定

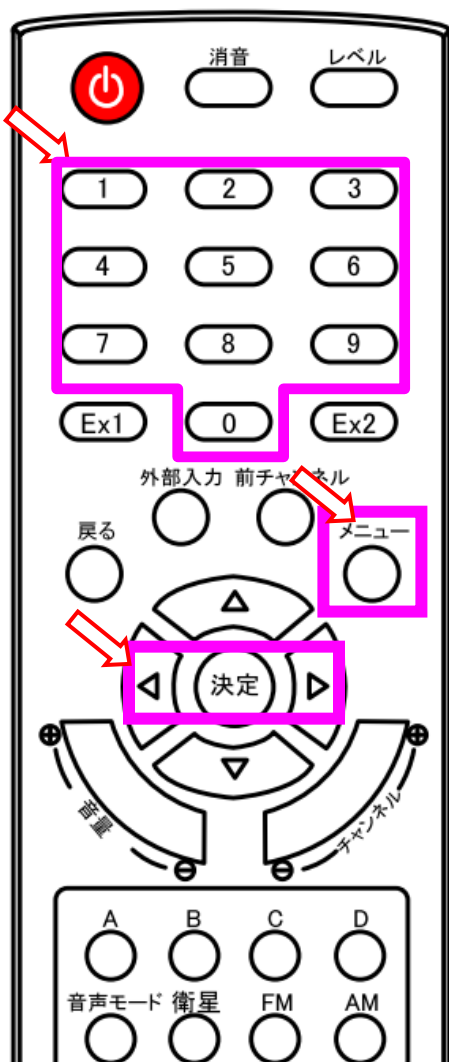
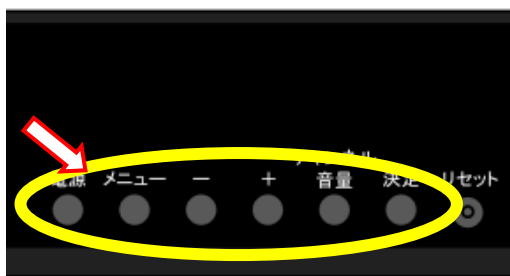
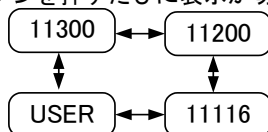
初回電源投入（または工場出荷設定後）から初期設定完了するまでは、電源を入れた後、下記流れの動作となります。

> **ご注意**
>
> ●機器の故障の原因となりますので、アンテナ設定中は本機の電源を切らないでください。

電源コードを接続し、**「電源」**ボタンを押して電源を入れます。

※電源コードを接続してからスタンバイランプが赤色に点灯する（スタンバイモードとなる）まで約 10 秒かかる場合があります。

1. ディスプレイに下記の順で表示されます。

シリアルナンバーとカード ID の照合をおこないます。

※初回設定時は NG となっても問題ありません。

*LNB 周波数設定

現在選択している設定が点滅表示します。

※LNB 周波数の初期設定は“11300”です。

2. 本体の「**＋ー**」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

11300：11300MHz に設定します。

11200：11200MHz に設定します。

11116：11116MHz に設定します。

USER ：ユーザー指定の LNB 周波数

3. “11300”、“11200”、“11116”を選択時に「**決定**」ボタンを押すと、設定の点滅が停止します。

“USER”選択時に「**決定**」ボタンを押すと、LNB 周波数をリモコンの「**数字(0～9)**」ボタンで入力することができます。（入力中は点滅表示）

入力後「**決定**」ボタンを押します。

4. 「**決定**」ボタンを押すと、下記表示に切り替わります。

現在選択している設定が点滅表示します。

15=15V（水平）

11=11V（垂直）

5. 「＋ー」ボタンまたは「**左右**」ボタンでいずれかの項目を選択して「**決定**」ボタンを押します。選択された設定のみ表示されて点滅が停止します。それ以外の設定表示は消えます。

6.「**決定**」ボタンを押すと下記表示に切り替わります。

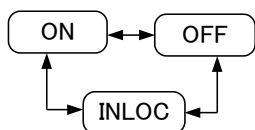
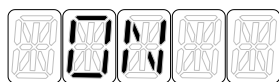
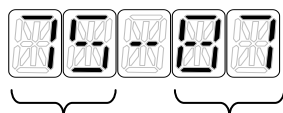
現在選択している設定が点滅表示します。

ON=LNB に常時電源供給します。

OFF=LNB に常時電源供給しません。

INLOC=本機電源と LNB 電源供給が連動します。

LNB 電源の初期設定は“ON”です。ただし、初期設定をおこなっていない場合は LNB 電源設定は“OFF”になっています。

7.「＋－」ボタンまたは「**左右**」ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

8. いずれかの項目を選択して「**決定**」ボタンを押します。設定の点滅表示が停止します。

9.「**決定**」ボタンを押すと衛星受信レベル表示に切り替わります。

現在レベル　　最大レベル

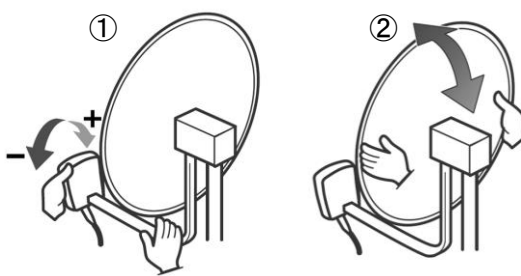
（ピークホールド）

アンテナの微調整をする

アンテナの方向を微調整して、受信レベルを調整します。

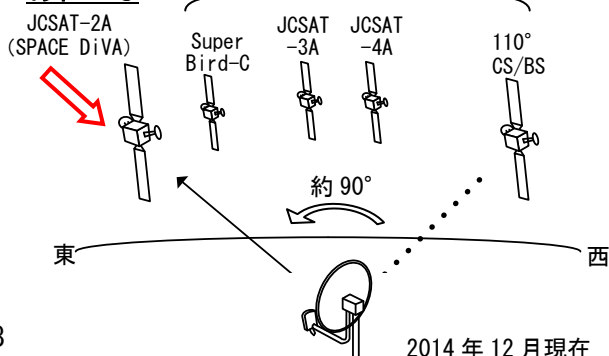
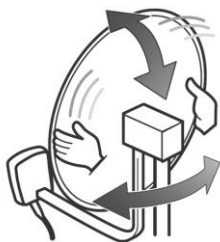
各角度は 23 ページの表を参考にして、下記手順でおこなってください。

①偏波面の傾き角を表に従いあわせる。

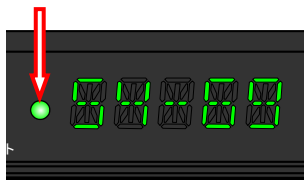
②仰角を表に従いあわせる。

③方位角を表に従いあわせる。

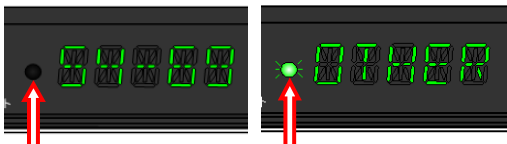
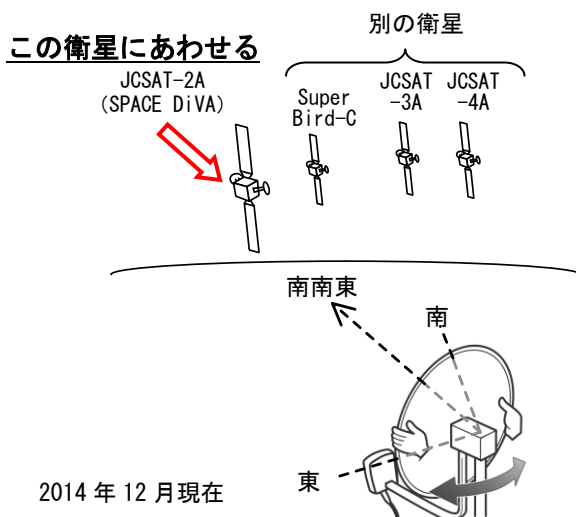
＊方向調整のコツ＊

偏波角・仰角をあわせたあと、ご近所の BS アンテナを目安に東側（アンテナの後ろから見て約 90 度左側）に一旦アンテナ面を向けてください。そのあと、1～2 度ずつ右側に方向をずらすと方位角の調整が楽にできます。

2014 年 12 月現在

④仰角・方位角を受信レベルを見ながら調整する。

⑤信号が受信できるだいたいの方向が分かったら、その付近で時計の針のようにゆっくりと動かし受信レベルが最大となる角度を見つける。

※アンテナ微調整が終わったら固定ボルトをしっかりと締め付けてください。

正しい衛星(SPACE DiVA)受信時の表示

SPACE DiVA を受信すると受信レベル表示時にスタンバイランプが緑色に点灯します(点灯するまでに 10 秒程度時間がかかることがあります)。番組情報更新する場合は、スタンバイランプが点灯したことを確認してから実施してください。

別の衛星受信時の表示

スタンバイランプが点灯しない、またはスタンバイランプが緑色に点滅する場合は**別の衛星信号を受信しています。**この場合、「OTHER」と表示されることがあります(「OTHER」表示するまで 10 秒程度時間がかかることがあります)。

お知らせ

別の衛星受信時の表示例(2014年12月現在)

JCSAT-4A････ / JCSAT-3A････ / Super Bird-C･･･ スタンバイランプ点滅 ＋ 「OTHER表示」

上記表示時はアンテナをもう少し東側へ向けてください。

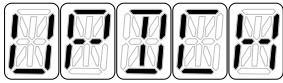
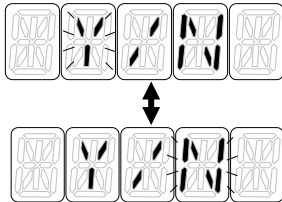
※別の衛星信号受信時に番組情報更新をした場合は、正しい衛星にあわせてもスタンバイランプが点灯しなくなることがあります。その場合は、フロントパネルの**「リセットスイッチ」**を押して本機を再起動させたのち、再度アンテナの向きを調整し直してください。

※ブースターを使用している場合、過大入力になることがありますのでご注意ください。

ご注意

現在レベルが55以上であることとスタンバイランプが点灯していることを確認してから手順10へ移ってください。

10.「**決定**」ボタンを押すと、下記表示に切り替わります。

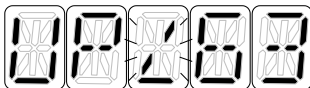
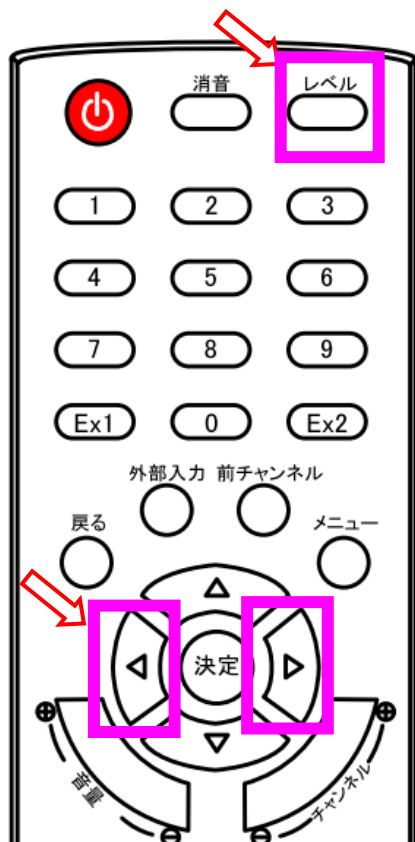
番組情報更新

11.「**決定**」ボタンを押すと、下記表示に切り替わります。

現在選択している設定が点滅表示します。

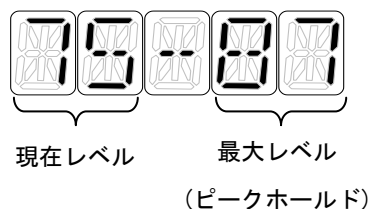
12.「**Y**」か「**N**」を選択します。

「**Y**」で番組情報を更新します。

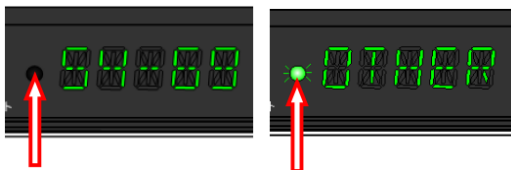
13.「**決定**」ボタンを押すと、選択された設定のみ表示します。

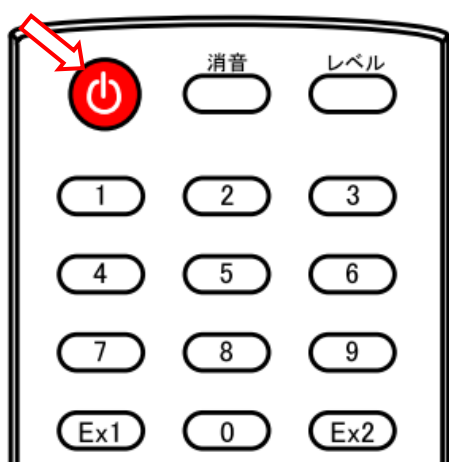
14.「**Y**」を選択時に「**決定**」ボタンを押すと、番組情報更新を開始します。更新中は進捗状況を表示します。

更新が進む間、"く"が点滅表示します。

番組情報更新が完了すると自動的にチャンネル200を受信し、チャンネル番号表示に切り替わります。

信号受信レベルの確認

衛星からのアンテナ信号受信状況を確認できます。降雨、降雪の際の受信状況を把握したり、アンテナ方向を微調整する際などにお使いいただける機能です。**「レベル」**ボタンを押すと、左側に受信中のアンテナ信号レベル、右側に最大レベルを表示します。

「現在レベル」は常時変動します

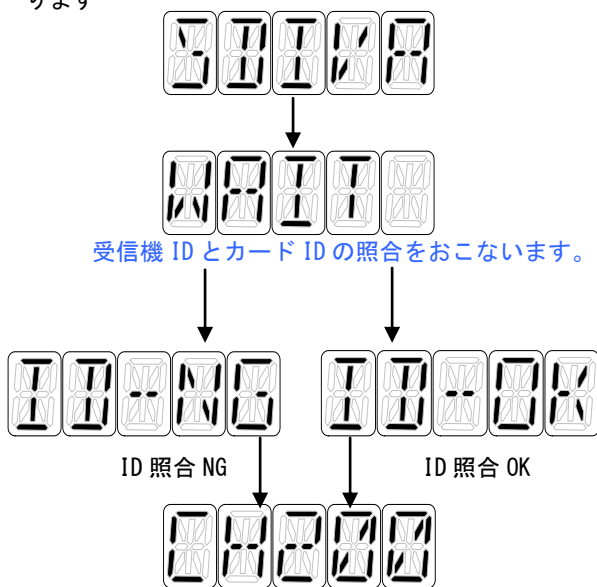
「左右」ボタンで「受信レベル表示」「LNB周波数表示」「アンテナ偏波表示」を切り替えることができます。

SPACE DiVA の信号を受信するとスタンバイランプが緑色に点灯します。
再度**「レベル」**ボタンを押すともとの表示に戻ります。
受信レベル表示はメニューモードでもおこなうことができます。

スタンバイランプが点灯しない、またはスタンバイランプが点滅している場合は別の衛星信号を受信しています。この場合、「OTHER」と表示されることがあります。アンテナ向きを調整してください。アンテナの微調整は28～30ページを参照してください。

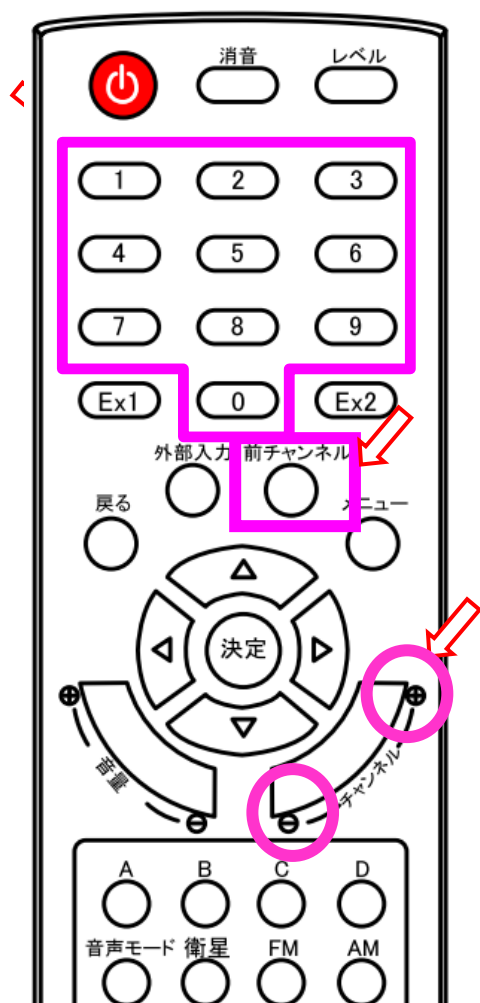
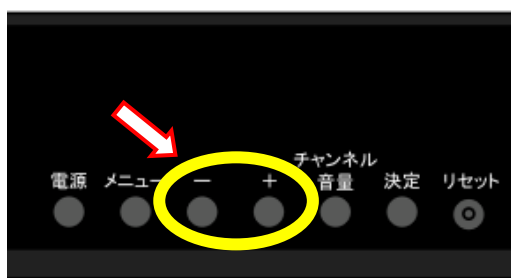
基本的な使いかた

リモコンボタンでの操作を中心に説明していますが、同様のボタンが本体にもある場合は本体からも同様に操作できます。

■電源を入れる

1. オーディオアンプのライン入力端子に本機のライン出力を接続します。

2. 「**電源**」ボタンを押すと本機前面のスタンバイランプが緑色に点灯し、表示が下記順で切り替わります

チャンネル番号表示に切り替わります。

（表示するチャンネルは設定によります）

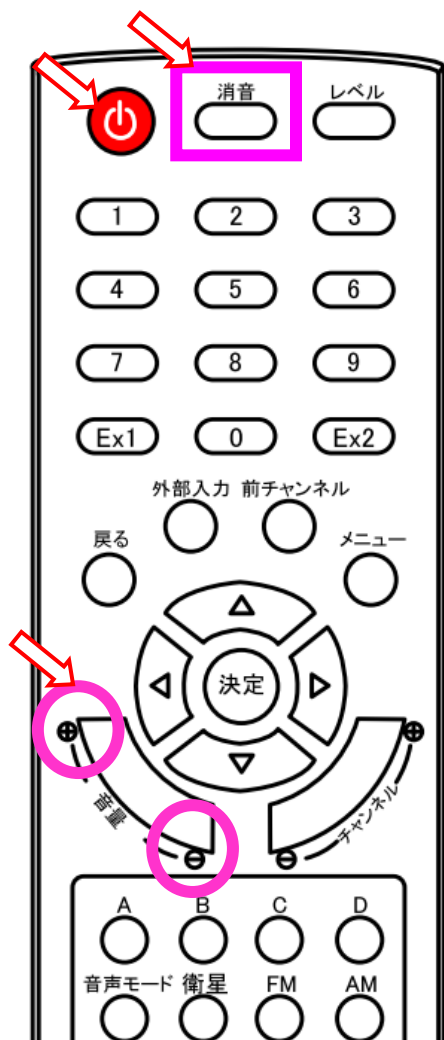
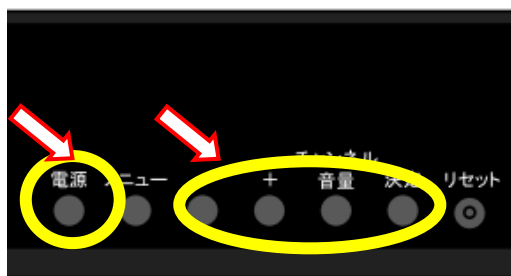
※「**ID-NG**」と表示された場合は、スマートカードが正しく挿入されているか（20 ページ）、受信契約をおこなっているか確認してください（11 ページ）。

■チャンネルを選ぶ

本体で操作する場合は**「チャンネル／音量」**ボタンを押してチャンネルモードを選択します。本体の「＋－」ボタンを１回押すとチャンネルが１つ上下します。長押しすることでチャンネルが 10 チャンネルずつスキップします。

リモコンで操作する場合は**「数字(0～9)」**ボタンでチャンネル番号を直接入力して選局することができます。また**「チャンネル」**ボタンを１回押すとチャンネルが上下に１つ上下します。長押しすることでチャンネルが 10 チャンネルずつスキップします。

「前チャンネル」ボタンを押すと、押すたびに直前に聴取していたチャンネルと現在聴取しているチャンネルとが切り替わります。

裏番組の確認などに便利です。

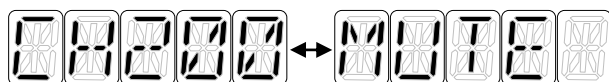
※「**決定**」ボタンを押すと時計表示、もう一度押すとチャンネル表示になります。(38 ページ)

■音量を調整する

リモコンの音量「＋/−」ボタンまたは本体の「**チャンネル／音量**」ボタンを押して音量モードに変更します。「＋/−」ボタンでお好みの音量に調整します。

ボタンを押すと音量表示に切り替わり、5 秒間操作をおこなわないともとの表示に戻ります。

音量は「**0～50**」まで調整できます。

ミュート（消音）

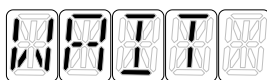
リモコンの「**消音**」ボタンまたは本体の「**チャンネル／音量**」ボタンを押しながら「**決定**」ボタンを 3 秒間押し続けると音量のミュート（消音）が有効となり、再び「**消音**」ボタンか音量「＋/−」、または本体の「**チャンネル／音量**」ボタンを押しながら「**決定**」ボタンを 3 秒間押し続けると解除されます。ミュート時はチャンネルと「**MUTE**」が交互に表示されます（チャンネル表示時）。

音のエチケット

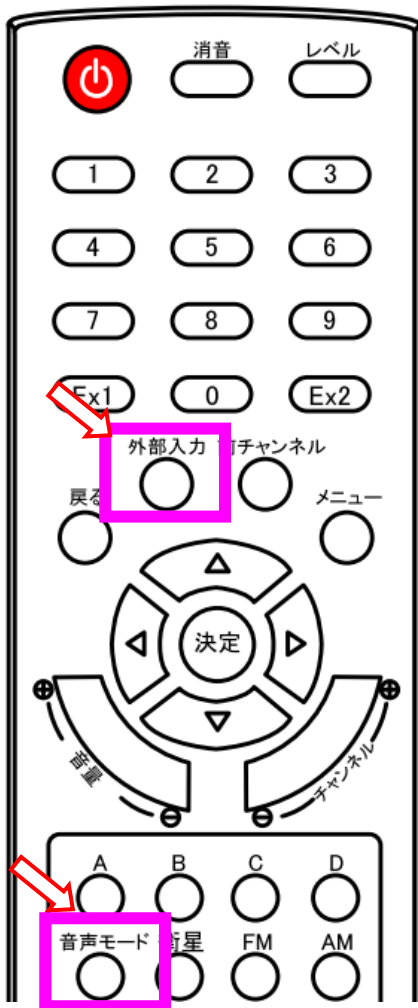
楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。

特に静かな夜間は窓を閉めるのもひとつの方法です。

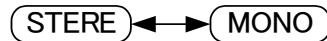
関連機能「音声常時オフ」（36 ページ）

■電源を切る

「**電源**」ボタンを再度押すと、以下のメッセージが表示され、スタンバイモードになります。

スタンバイランプが赤色に点灯します。

使いかたにあわせた設定をする

オーディオモードの切り替え

「音声モード」ボタンを押すとオーディオモードを表示します。ボタンを押すたびに下記のように表示が切り替わり、オーディオモードが交互に切り替わります。

STERE ◀━━▶ MONO

表示は 5 秒後にもとの表示に戻ります。

ステレオ STERE：左右の音がそれぞれ独立で立体感が得られるように音響を再生します。

「STERE」は STEREO の略称です。

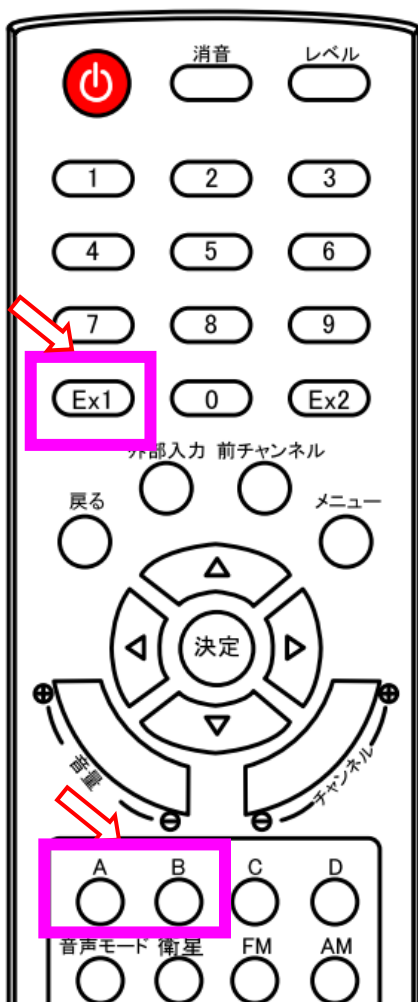
モノラル MONO：ステレオ放送の場合、左右の合成された音が両方のスピーカーより出力されます。

外部入力への切り替え

「外部入力」ボタンを押すと、下記のように表示が切り替わり、ボタンを押すたびに SPACE DiVA 音楽放送受信/外部入力が交互に切り替わります。

外部入力切替はメニューでの操作も可能です。

※外部入力使用中は、チャンネル番号表示の代わりに「AUX」を表示します。

その他の機能

音声常時オフ

すべて、または選択したチャンネルの音声を常時「オフ」にします。

※電源オン／オフの操作をおこなっても､チャンネルオフは解除されません。

全チャンネルオフ

すべてのチャンネルの音声を常時｢オフ｣にします。｢Ex1｣ボタンを押し、｢A｣ボタンを押します。

押すごとに設定のオン／オフが切り替わります。

オフ設定時はスタンバイランプが緑色に点滅します。

選択チャンネルオフ

選択したチャンネルの音声を常時｢オフ｣にします。常時「オフ」にしたいチャンネルを選択して｢Ex1｣ボタンを押し、｢B｣ボタンを押します。

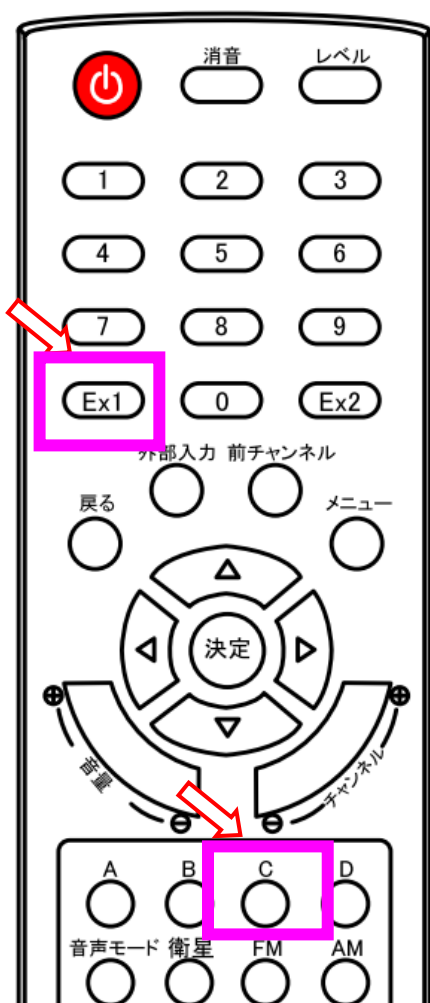
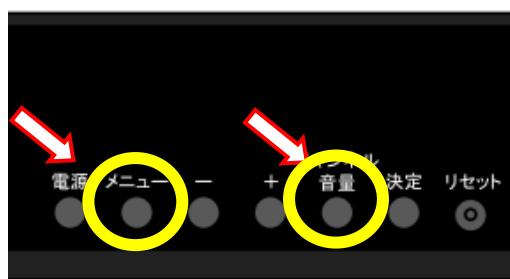
押すごとに設定のオン／オフが切り替わります。

オフ設定したチャンネルを選局した際､スタンバイランプが緑色に点滅します。

※一部のチャンネルのみ聴取したいとき※

●聴取可能な全チャンネルのうち、一部のチャンネルのみを聴取したい場合は下記のように設定すると便利です。

①全チャンネルオフを設定する。

②選択チャンネルオフでお聞きになりたいチャンネルのオフを解除する。

キーロック

リモコンおよび本体のすべてのボタン操作を無効にします。

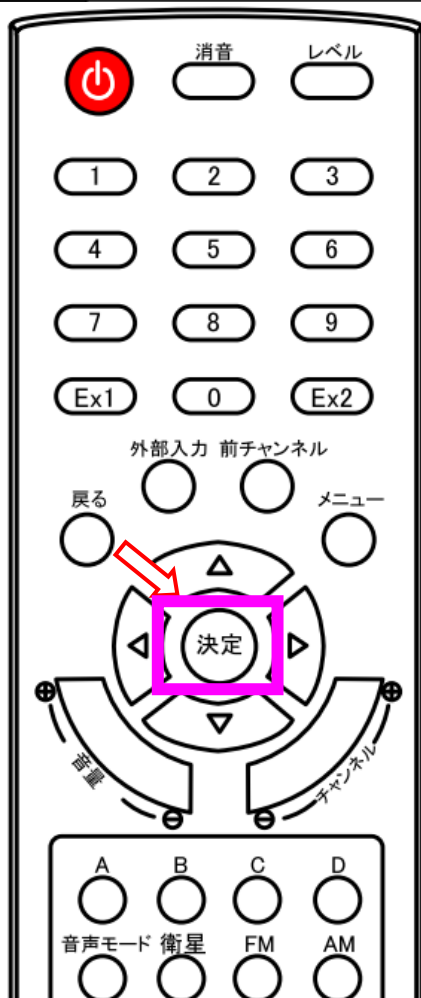
キーロック中は電源ボタンのみ操作可能です。

※電源オン／オフの操作をおこなってもキーロック操作は解除されません。

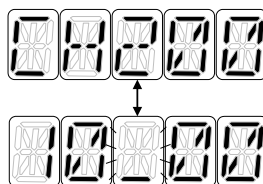
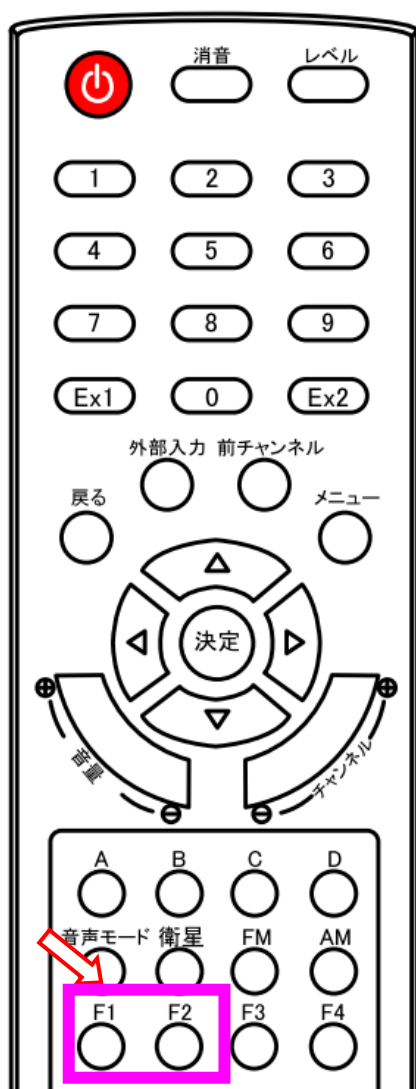
「Ex1」ボタンを押し、「C」ボタンを押します。押すごとに設定のオン／オフが切り替わります。または本体の「**チャンネル／音量**」ボタンを押しながら「**メニュー**」ボタンを 3 秒押し続けても同様にキーロックとなります。

キーロックすると下記表示に切り替わり、3 秒後にもとの表示に戻ります。

キーロック時にいずれかのボタンが押されると「KEYLO」表示に切り替わり、3 秒後にもとの表示に戻ります。

キーロック解除時は、チャンネル番号表示が 3 秒間点滅します。

時計表示機能

本機にて時計表示をおこないます。

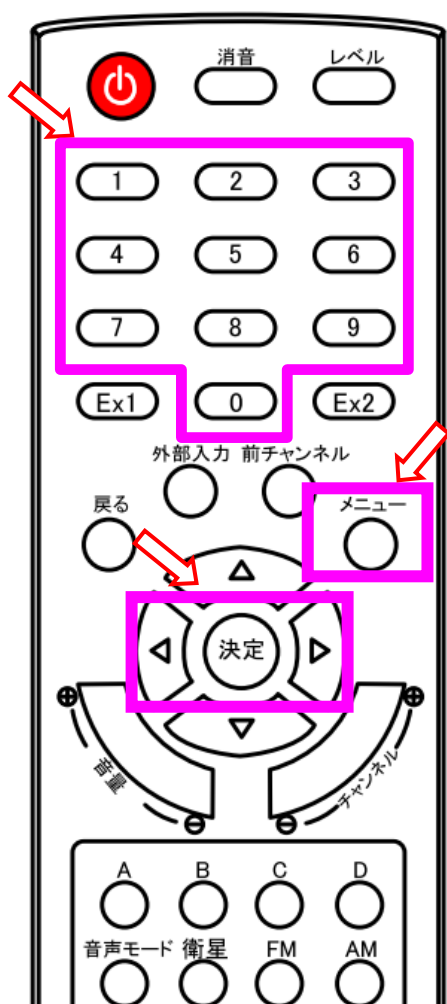
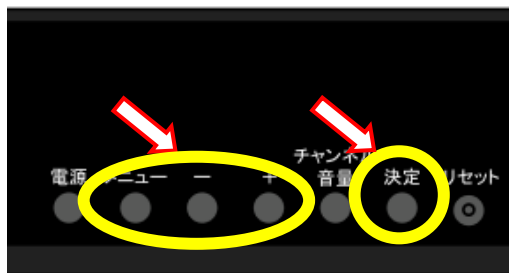
「決定」ボタンを押すたびにチャンネル表示と時計表示が切り替わります。スタンバイ状態でも**「決定」**ボタンを押すと時計表示をおこないます。

※衛星から時刻情報を受信して、自動で時計を補正しています。そのため時計の設定は必要ありません。また、長期間衛星を受信できない場合は時計がずれる可能性があります。

CM 再生機能

内蔵メモリに保存されている CM を再生します。

「F1」ボタンを押すとメモリに保存されている CM1 が 1 回再生されます。

「F2」ボタンを押すとメモリに保存されている CM2 が 1 回再生されます。

※内蔵メモリに CM が保存されていない場合には「NO CM」と表示します。3 秒経過すると元の画面に戻ります。

メニューモードでの各種設定

メニューモードでは、音楽放送をより快適に楽しむためのさまざまな設定や確認をすることができます。

バックアップ設定

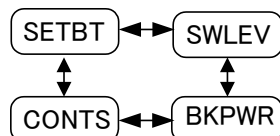
悪天候などにより信号受信レベルが低下した際、本機に接続されたメモリープレーヤー等の電源を自動でオン／オフできるバックアップ機能を備えています。

バックアップ中は、**「チャンネル番号」**表示と**「バックアップコンテンツ」**を交互に表示します。

スタンバイランプはオレンジ色に点灯します。

1. **「メニュー」**ボタンを押し、本体の「＋ー」ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンで**「SYSET」**を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

2. 「＋ー」ボタンまたは**「左右」**ボタンで**「BKUP」**を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

3. 「＋ー」ボタンまたは**「左右」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

SETBT：バックアップ時間設定

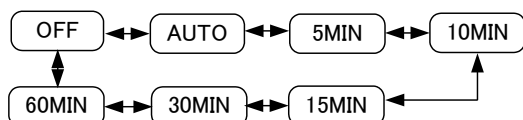
SWLEV：切替レベルの設定

BKPWR：バックアップ電源供給設定

CONTS：バックアップコンテンツ設定

これより各項目に進んでください。

バックアップ時間設定

1.「SETBT」を選択して、**「決定」**を押すとバックアップ時間の選択画面が表示されます。

OFF:バックアップに切り替わらない。

AUTO:バックアップに切り替わり、信号受信レベルが復旧した場合すぐに衛星受信状態に戻る。

5分・10分・15分・30分・60分:
設定した各時間後に衛星受信状態に戻る。

いずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

2. もう一度**「決定」**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには**「メニュー」**ボタンを押します。

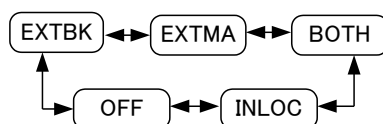
切替レベルの設定

1.「SWLEV」を選択して、**「決定」**ボタンを押すと切替レベルが表示されます。本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンまたは**「数字 0～9」**ボタンで設定値（10～40）を入力してから**「決定」**ボタンを押してください。

※バックアップに切り替わる信号受信レベルです。(工場出荷設定は25)
信号受信レベルが設定したレベルを下回った際、バックアップ機能が働きます。

2. もう一度**「決定」**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには**「メニュー」**ボタンを押します。

バックアップ電源供給設定

1.「BKPWR」を選択して、**「決定」**ボタンを押すとバックアップ端子の電源供給設定の選択画面が表示されます。
本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

EXTBK:バックアップモードでの外部入力使用時のみバックアップ端子に電源供給

EXTMA:手動操作での外部入力使用時のみバックアップ端子に電源供給

BOTH :外部入力使用時は常時電源供給

INLOC:本機電源とバックアップ端子電源供給が連動します。

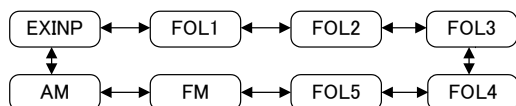
OFF :バックアップ端子電源供給は常時オフ

いずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

2. もう一度**「決定」**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示画面に戻るには**「メニュー」**ボタンを押します。

バックアップコンテンツ設定

1.「**CONTS**」を選択して、「**決定**」ボタンを押すとバックアップコンテンツの選択画面が表示されます。

本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

EXINP：バックアップモード時、外部入力を出力します。

FOL1～5:バックアップモード時、内蔵メモリの1～5のコンテンツを出力します。

FM：バックアップモード時、FM ラジオを出力します。

AM：バックアップモード時、AM ラジオを出力します。

いずれかの設定で「**決定**」ボタンを押して決定してください。

2.もう一度「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示画面に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

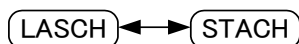
スタートチャンネル設定

電源を入れたときに、最初に受信するチャンネルを設定することができます。

1.「**メニュー**」ボタンを押し、本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「**SYSET**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2. 「＋－」ボタンまたは「**左右**」ボタンで「**SETCH**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

3. 「＋－」ボタンまたは「**左右**」ボタンで下記のように切り替わりますので、いずれかで「**決定**」ボタンを押します。

LASCH ◀―▶ STACH

LASCH:電源オフの前に受信したチャンネル（ラストチャンネル）

STACH:指定チャンネルでスタート（スタートチャンネル）、また解除するには「LASCH」を選んでください。

4.「LASCH」を選択したときは、「Y/N」の選択となりますので、「Y」を選択して「**決定**」ボタンを押してください。

「STACH」を選択したときは、「＋－」ボタンまたは「**左右**」ボタンまたは「**数字 0～9**」ボタンでチャンネル番号を入力してから「**決定**」ボタンを押してください。

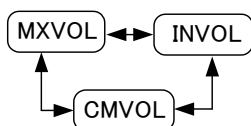
5.もう一度「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示画面に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

最大音量設定(衛星受信,外部入力,CM)

工場出荷時の最大音量は50に設定されています。ご使用の状況にあわせて音量の最大値を小さくすることができます。

1.「**メニュー**」ボタンを押し、本体の「**+ー**」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「**SYSET**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2. 「**+ー**」ボタンまたは「**左右**」ボタンで「**AUSET**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

3. 「**+ー**」ボタンまたは「**左右**」ボタンで下記のように切り替わりますので、いずれかで「**決定**」ボタンを押します。

MXVOL:衛星受信チャンネル側の最大音量設定
INVOL:外部入力側の最大音量設定
CMVOL:CMの最大音量設定

4. 「**+ー**」ボタンまたは「**左右**」ボタンまたは「**数字 0～9**」で設定値(0～50)を入力してから「**決定**」ボタンを押してください。

5. もう一度「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

明るさ設定

ディスプレイ表示の明るさを 3 段階に設定できます。

1.「**メニュー**」ボタンを押し、本体の「**+ー**」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「**SYSET**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2. 「**+ー**」ボタンまたは「**左右**」ボタンで「**BRSET**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

3. 「**+ー**」ボタンまたは「**左右**」ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

4. いずれかの設定で「**決定**」ボタンを押して決定してください。メニュー画面に戻ります。
チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

リモコン設定

リモコンでの操作と機能を切り替えできます。

1.**「メニュー」**ボタンを押し、本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンで**「SYSET」**を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

2. 「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンで**「RCU」**を選択し**「決定」**ボタンを押します。

3. 「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

RCU_F ←→ CODE

RCU_F:リモコン操作の有効／無効を設定します。
CODE:リモコンのコードを設定します。
これより各項目に進んでください。

リモコン操作の有効／無効設定

1.**「RCU_F」**を選択して、**「決定」**ボタンを押すとのリモコンの選択画面が表示されます。
「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

ON :リモコンでの操作が可能です。
OFF:リモコンでの操作を受け付けません。
いずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

2.もう一度**「決定」**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには**「メニュー」**ボタンを押します。

リモコンコードの設定

1.**「CODE」**を選択して、**「決定」**ボタンを押すとのリモコンの選択画面が表示されます。
「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

CODE1:CODE1 のリモコンを受信します。
通常は CODE1 のリモコンが付属されています。
CODE2:CODE2 のリモコンを受信します。
CODE2 のリモコンは別売りになります。
いずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

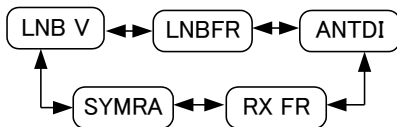
2.もう一度**「決定」**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには**「メニュー」**ボタンを押します。

アンテナ設定

アンテナの設定方法については「初期設定(26～30 ページ)」の中で説明してありますが、再設定が必要な場合は、このモードで設定することができます。

1.**「メニュー」**ボタンを押し、本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンで**「INSET」**を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

2. 「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンで**「ANTSE」**を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

3. 「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

LNB V:LNB 電源の供給設定をします。

LNBFR:LNB 局発周波数を設定します。

ANTDI:LNB 偏波（LNB 電圧）を設定します。

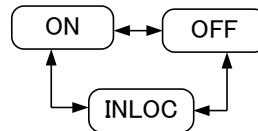
RX FX:受信周波数を設定します。

SYMRA:シンボルレートを設定します。

これより各項目に進んでください。

LNB 電源設定

1.**「LNB V」**を選択して、**「決定」**ボタンを押すと LNB 電源の選択画面が表示されます。

「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

ON　:LNB 電源を常時供給します。

OFF　:LNB 電源を常時供給しません。

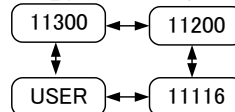
INLOC:本機電源と LNB 電源が連動します。

いずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

2. もう一度**「決定」**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには**「メニュー」**ボタンを押します。

LNB 局発の設定

1.**「LNBFR」**を選択して**「決定」**ボタンを押すと LNB 局発（コンバータの周波数）の選択画面が表示されます。

本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

11300:11300MHz に設定します。

11200:11200MHz に設定します。

11116:11116MHz に設定します。

USER　:ユーザー指定の LNB 周波数

2.**「11300」「11200」「11116」**のいずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

「USER」で**「決定」**ボタンを押すと、**「数字 0～9」**ボタンで LNB 周波数を入力できます。入力後**「決定」**ボタンを押してください。

3. もう一度「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

LNB 偏波（LNB 電圧）

1.「**ANTDI**」を選択して、「**決定**」ボタンを押すとLNB 偏波設定の選択画面が表示されます。

2. 本体の「**＋－**」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「**11**」「**15**」の点滅が切り替わりますので、いずれかで「**決定**」ボタンを押します。

15:15V（水平）
11:11V（垂直）

3. もう一度「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

受信周波数

1.「**RX FR**」を選択して、「**決定**」ボタンを押すと受信周波数の設定画面が表示されます。

2.「**数字 0～9**」ボタンで設定値を入力してから「**決定**」ボタンを押してください。
※工場出荷設定は「**12658**」となります。

3. もう一度「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

シンボルレート

1.「**SYMRA**」を選択して、「**決定**」ボタンを押します。

2.「**数字 0～9**」ボタンで設定値を入力してから「**決定**」ボタンを押してください。
※工場出荷設定は「**21096**」となります。

3. もう一度「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

番組情報の更新

番組情報更新については「初期設定(26～30 ページ)」の中で説明してありますが、再更新が必要な場合は、このモードで更新することができます。

1.「**メニュー**」ボタンを押し、本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「INSET」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2.「UPDCH」と表示されます。「**決定**」ボタンを押すと、「Y/N」の選択となりますので、「Y」を選択して「**決定**」ボタンを押します。

3. もう一度「**決定**」ボタンを押すと番組情報更新が開始され、進捗状況が表示されます。

4. 番組情報の取得、更新が完了すると自動的にチャンネル 200 を受信し、チャンネル番号を表示します。

ソフトウェアのバージョンアップ

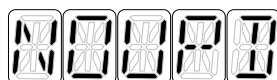
衛星を通じて本機のソフトウェアをバージョンアップする機能です。OTA の実行にはしばらく時間がかかることがあります。

1.「**メニュー**」ボタンを押し、本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「INSET」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2. 「＋－」ボタンまたは「**左右**」ボタンで「OTA」を選択し、「**決定**」ボタンを押すと、「Y/N」の選択となりますので、「Y」を選択して「**決定**」ボタンを押します。

3. もう一度「**決定**」ボタンを押すとソフト更新確認が行なわれ、更新がある場合はダウンロードが自動的に開始されます。進捗状況が表示されます。

※更新が完了すると再起動します。

※更新がない場合は以下のように表示されます。

4. 「**決定**」ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

工場出荷設定（初期設定）

本機の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

※工場出荷設定に戻した場合、お客様が設定した内容はすべてリセットされますのでご注意ください。

1.**「メニュー」**ボタンを押し、本体の「＋－」ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンで「INSET」を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

2. 「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンで「FASET」を選択し、**「決定」**ボタンを押すと、「Y/N」の選択となりますので、「Y」を選択して**「決定」**ボタンを押します。

3. もう一度**「決定」**ボタンを押すと工場出荷設定(初期設定)が開始され、本機が再起動します。再起動後の操作については「初期設定（26～30ページ)」を参照ください。

工場出荷時のパラメータ設定

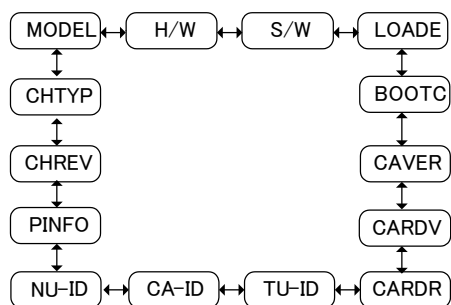
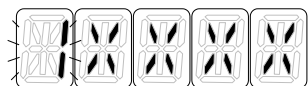
	項目	設定	設定値	備考
01	LNB 電源供給設定	常時供給	ON	ただし、初期設定が完了するまでは、LNB 電源 OFF
02	LNB 周波数設定	11300MHz	11300	
03	受信周波数設定	12658MHz	12658	
04	シンボルレート設定	21096Ksps	21096	
05	アンテナ偏波設定	11V（垂直）	11	
06	最大音量設定(衛星受信)	50(最大)	50	
07	最大音量設定(外部入力)	50(最大)	50	
08	最大音量設定(ＣＭ)	50(最大)	50	
09	明るさ設定	標準	DIM2	
10	バックアップ時間設定	オフ	OFF	
11	切替レベル設定	25	25	
12	バックアップ電源供給設定	常時 OFF	OFF	
13	コンテンツ設定	外部入力	EXINP	
14	自動外部切替設定	オフ	OFF	
15	切替確認時間設定	4 秒	4SEC	
16	切替感度設定	標準	MID	
17	スタートチャンネル設定	ラストチャンネル	LASCH	
18	リモコン設定	リモコン信号受付	ON	
19	リモコンコード設定	リモコンコード	CODE1	
20	MCAN データ設定	外部出力	EXT	
21	MCAN サイト設定	設定無し	00000	
22	MCAN PID 設定	設定無し	00	
23	MCAN ログ設定	オフ	OFF	
24	スリープタイマー機能	オフ	OFF	
25	タイマープレイ機能	オフ	OFF	タイマー設定内容もすべてリセットされます。
26	入力設定	衛星受信	SAT	
27	音量設定	30	VOL30	
28	オーディオモード	ステレオ	STERE	
29	FM ラジオ周波数	76.0MHz	76_0	
30	AM ラジオ周波数	531KHz	0531	

本機に関する情報を見る

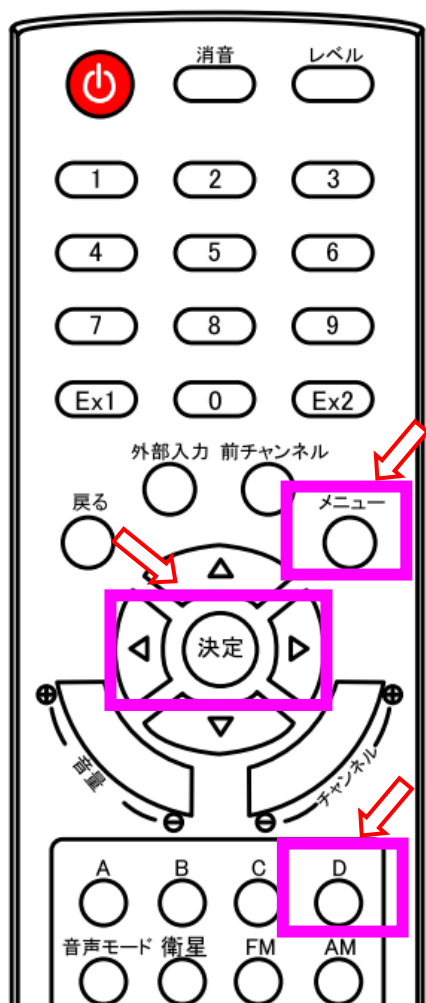
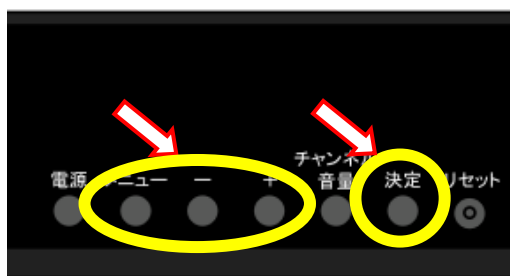
■チューナーインフォメーションを表示させる

ソフトウェアのバージョンやカード ID 番号など、本機に関する情報を見ることができます。

1.「**メニュー**」ボタンを押し、本体の「**＋－**」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「**INFO**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2. 「**＋－**」ボタンまたは「**左右**」ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

3.いずれかで「**決定**」ボタンを押すと、そのインフォメーションが表示されます。

※左端の点滅数字がページ数を表しています。

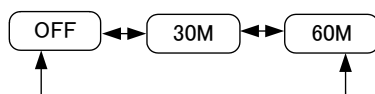
4. 「**＋－**」ボタンまたは「**左右**」ボタンでページを切り替えることができます。

5.「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

スリープタイマー機能

スリープタイマーは 30 分、60 分、OFF(解除)に設定できます。

1.「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋ー」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「TIMER」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2.「SLEEP」が表示されますので、「**決定**」ボタンを押します。

3. 「＋ー」ボタンまたは「**左右**」ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

いずれかの設定で、「**決定**」ボタンを押して決定してください。

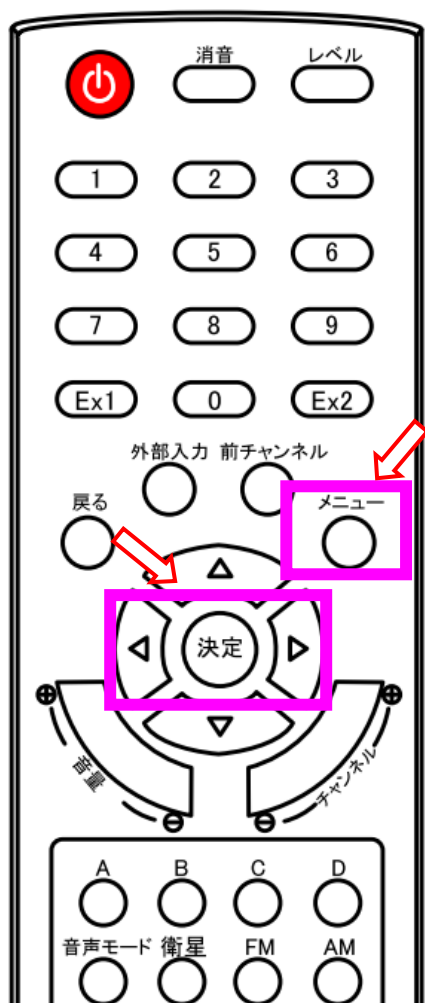
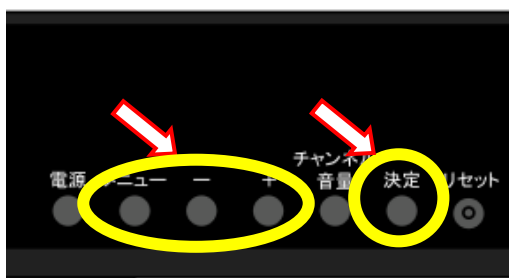
4. もう一度「**決定**」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「**メニュー**」ボタンを押します。

スリープタイマーが設定されている場合は、チャンネル表示の左側に「S」が表示されます。

※スリープタイマーとタイマープレイが両方設定されている場合はチャンネル表示の左側に「T」および「S」が表示されます。

スリープタイマーは「D」ボタンを押すことで設定することができます。
チャンネル番号表示時に「D」ボタンを押すと、時計周りで設定が切り替わります。

5 秒後にチャンネル番号表示に戻り、選択された設定が有効になります。

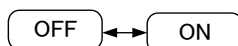
※スリープタイマーが設定されている状態で再度「D」ボタンを押すとスリープタイマーの残時間が 5 秒間表示されます。残時間表示時に再度「D」ボタンを押すとスリープタイマーが解除されます。

タイマープレイ機能

ご希望のチャンネルを開始･終了時間を指定して聞くことができます。タイマーは開始と終了を合わせて 32 個まで登録ができます。

1.「**メニュー**」ボタンを押し、本体の「＋ー」ボタンまたはリモコンの「**左右**」ボタンで「**TIMER**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2. 「＋ー」ボタンまたは「**左右**」ボタンで「**TPLAY**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

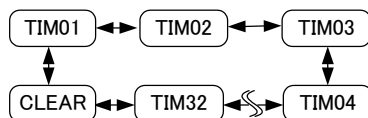
3. タイマー機能無効／有効を選択します。

OFF ←→ ON

「**OFF**」選択時、タイマーは動作しません。

「＋ー」ボタンまたは「**左右**」ボタンで「**ON**」を選択して「**決定**」ボタンを押してください。「**ON**」が点滅から点灯に切り替わったらもう一度「**決定**」ボタンを押してください。

「**TIM01**」の表示に切り替わります。

4. 設定したいタイマー番号を選択します。

「＋ー」ボタンまたは「**左右**」ボタンで「**01～32**」または「**CLEAR**」のいずれかを選択してください。

TIM01-32 : タイマー番号 01～32

CLEAR : 全てのタイマー設定を削除

タイマー設定を入力する場合は「**01～32**」のいずれかを選択して、「**決定**」ボタンを押します。

点滅が止まったらもう一度**「決定」**ボタンを押します。

このあと手順5へ進んでください。

※全てのタイマー設定を削除する場合は

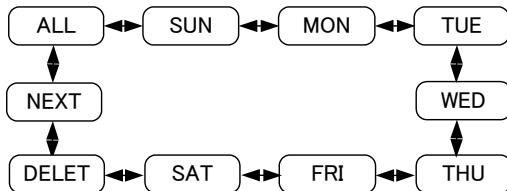
①**「CLEAR」**を選択して**「決定」**ボタンを押します。

②もう一度**「決定」**ボタンを押すと**「Y/N」**の画面となります。

③**「Y」**を選んで**「決定」**ボタンを押します。

④**「Y」**を確認後**「決定」**ボタンを押しますと、全ての設定が削除されます。このあと手順4(53ページ)へ戻ります。入力を終了するには**「メニュー」**ボタンを押して終了します。

5. 曜日の設定をします。**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンで曜日を選択して、**「決定」**ボタンを押してください。選択された曜日の前に**「＊」**がつきます。

「ALL」を選択すると全ての曜日が選択されます。曜日の選択をしたら、続けて**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンで**「NEXT」**を選択して、**「決定」**ボタンを押してください。

※曜日参考 日:SUN 月:MON 火:TUE 水:WED
木:THU 金:FRI 土:SAT 全曜日:ALL

※曜日を選択していないと**「NEXT」**を選択しても次の設定に進みません。

※個別にタイマー設定を削除する場合は

①**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンで**「DELET」**を選択して、**「決定」**ボタンを押します。

②もう一度**「決定」**ボタンを押すと**「Y/N」**の画面となります。

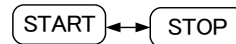
③**「Y」**を選んで**「決定」**ボタンを押します。

④**「Y」**を確認後**「決定」**ボタンを押しますと、選択したタイマー設定が削除されます。

6. 時間の設定をします。**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンまたは**「数字0～9」**ボタンで時間を入力してください。設定が終わったら**「決定」**ボタンを押して、次に分の設定をしてください。分も時間と同様の操作となります。

※同曜日同時間の設定はできません。**「ERROR」**となります。

7. 開始または終了の設定をします。**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンで選択をしてください。開始タイマーを設定する場合は**「START」**を選択して**「決定」**ボタンを押してください。終了タイマーを設定する場合は**「STOP」**を選択して**「決定」**ボタンを押してください。

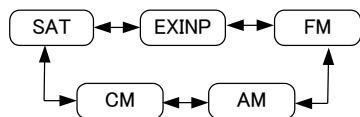
START ⟷ STOP

もう一度**「決定」**ボタンを押してください。

「START」を選択した場合は手順8へ、**「STOP」**を選択した場合は**「TIM01」**の表示に戻ります。入力を続ける場合は手順4(53ページ)へ、入力を終了するには**「メニュー」**ボタンを押して終了します。

8.タイマーで聞きたい音源を選択します。衛星受信、外部入力、ラジオ、CM が選択できます。**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンで選択してください。衛星受信の場合は**「SAT」**を選択してください。

外部入力の場合は**「EXINP」**を選択して**「決定」**ボタンを押してください。

ラジオの場合は**「FM」**または**「AM」**を選択して**「決定」**ボタンを押してください。

CM の場合は**「CM」**を選択して**「決定」**ボタンを押してください。

9. もう一度**「決定」**ボタン押してください。

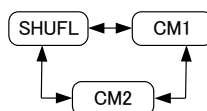
「SAT」を選択した場合はチャンネルを設定します。**「EXINP」**を選択した場合は手順 12 に移ります。**「FM」**または**「AM」**を選択した場合は手順 10 に移ります。**「CM」**を選択した場合は手順 11 に移ります。

チャンネルは**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンまたは**「数字 0～9」**ボタンで入力をしたあと**「決定」**ボタンを押し、確認後もう一度**「決定」**ボタンを押してください。手順 12 に移ります。

10. 受信周波数を設定します。

受信周波数は**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンまたは**「数字 0～9」**ボタンで入力をしたあと**「決定」**ボタンを押し、確認後もう一度**「決定」**ボタンを押してください。手順 12 に移ります。

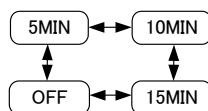
11. CM の設定します。

再生した CM を選択します。**「SHUFL」**、**「CM1」**、**「CM2」**を**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンで入力したあと**「決定」**ボタンを押してください。確認後もう一度**「決定」**ボタンを押してください。

※SHUFL:CM3,4,5…のうちの１つをシャッフル再生します。

※CM1：CM1 を 1 回再生します。

※CM2：CM2 を 1 回再生します。

※CM が保存されていない場合は**「NO CM」**と表示されます。

「SHUFL」を選択した場合に繰り返し時間の設定をします。**「＋－」**ボタンまたは**「左右」**ボタンで選択したあと**「決定」**ボタンを押し、確認後もう一度**「決定」**ボタンを押してください。

※5MIN：**「SHUFL」**が停止されるまで、5 分毎に CM が再生されます。

※10MIN：**「SHUFL」**が停止されるまで、10 分毎に CM が再生されます。

※15MIN：**「SHUFL」**が停止されるまで、15 分毎に CM が再生されます。

※OFF：**「SHUFL」**が有効な場合、**「SHUFL」**を停止します。

12. 音量を設定します。

「＋ー」ボタンまたは**「左右」**ボタンまたは**「数字0～9」**ボタンで入力をしたあと**「決定」**ボタンを押し、確認後もう一度**「決定」**ボタンを押してください。「TIM01」の表示に戻ります。

13. 入力を続ける場合は手順4(53ページ)へ

入力を終了するには**「メニュー」**ボタンを押して終了します。

タイマープレイが設定されている場合は、チャンネル表示の左側に「T」が表示されます。

※スリープタイマーとタイマープレイが両方設定されている場合はチャンネル表示の左側に「T」および「S」が表示されます。

ワンポイント:設定途中で前項目へ戻りたい場合は、本体前面の**「チャンネル／音量」**ボタンかリモコンの**「戻る」**ボタンで戻ることができます。

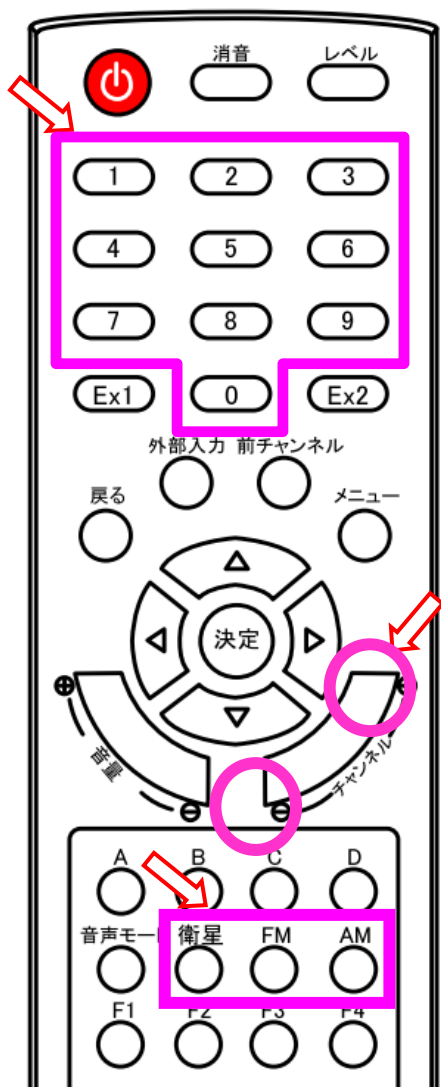
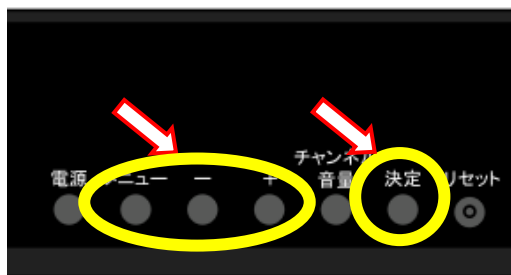
タイマーチェック機能

タイマープレイを入力後に簡単にチェックすることが出来ます。

1. **「メニュー」**ボタンを押し、本体の「＋ー」ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンで「CHECK」を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

2. 「＋ー」ボタンまたは**「左右」**ボタンで「TIM**」を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

3. 「TIM**」の設定した内容が**「決定」**ボタンを押すたびに表示されます。最後まで確認すると「CHECK」の表示に戻ります。

※タイマーの設定が無い場合は「NOTIM」と5秒間点滅表示をしてから「CHECK」に戻ります。

FM, AM ラジオ機能

本機ではお住まいの地域のラジオ放送をお楽しみいただけます。FM ラジオは付属のアンテナを接続してください。AM ラジオのアンテナは別売りとなります。

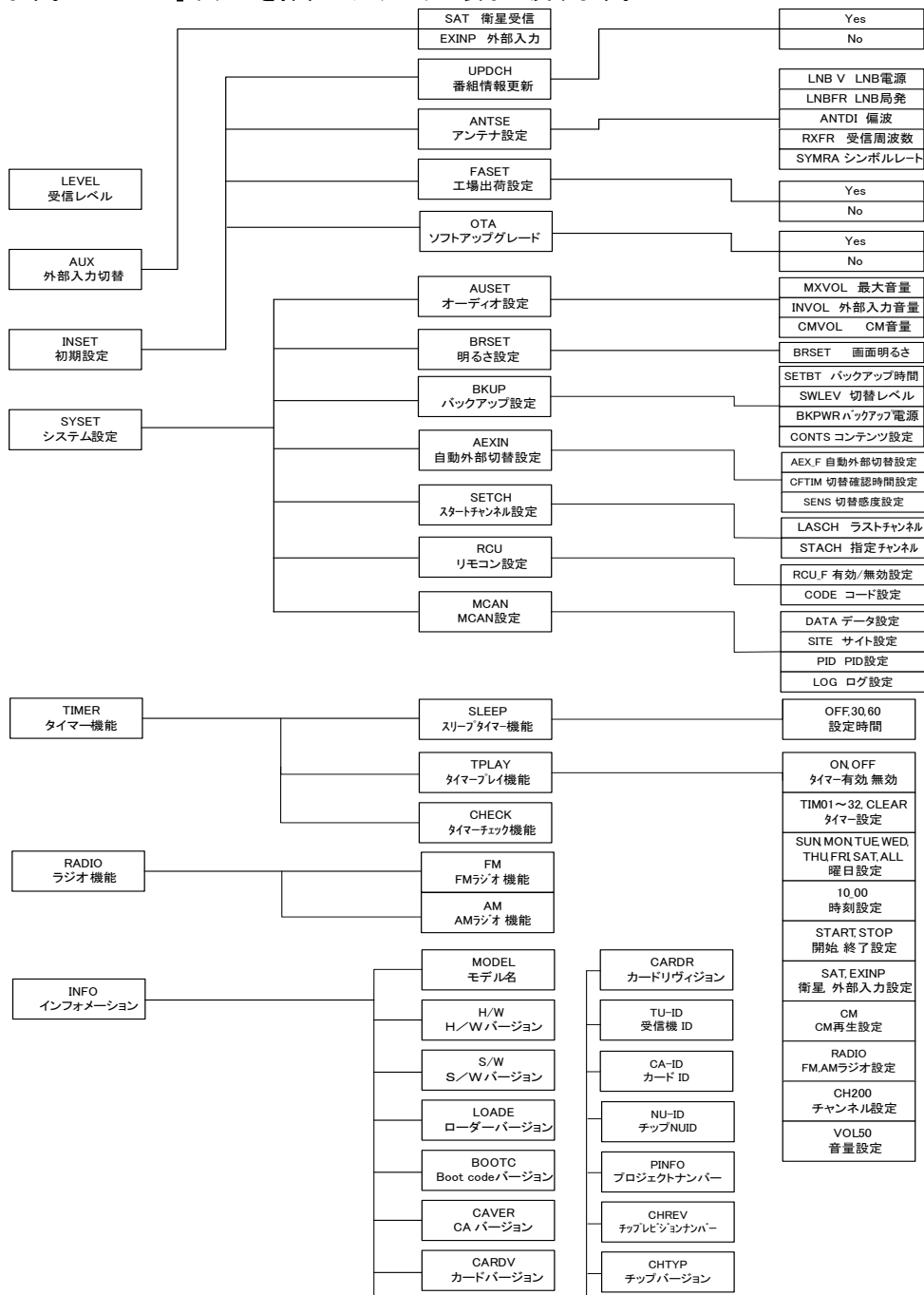
１．**「メニュー」**ボタンを押し、本体の**「＋ー」**ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンで**「RADIO」**を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

2.**「FM」**または**「AM」**を選択します。
「＋ー」ボタンまたは**「左右」**ボタンで選択し、**「決定」**ボタンを押します。

3.**「FM」**または**「AM」**の受信周波数を設定します。本体の**「＋ー」**ボタンまたはリモコンの**「チャンネル」**ボタン、**「数字 0～9」**ボタンで放送局の周波数を入力してください。

※**「＋ー」**ボタンまたは**「チャンネル」**ボタンを押すたびに、FM の場合は 0.1MHz 毎、AM の場合は 9kHz 毎に周波数が変わります。
※リモコンから**「FM」**ボタンまたは**「AM」**ボタンを押すことで、切替操作ができます。衛星放送に戻すには**「衛星」**ボタンを押してください。
また、本体操作にて衛星放送に戻すには**「メニュー」**ボタンを押し**「AUX」**を選択して**「決定」**ボタンを押します。**「SAT」**を選択して**「決定」**ボタンを押すと衛星放送に戻ります。
チャンネル番号表示に戻るには**「メニュー」**ボタンを押します。

メニューモード一覧

リモコンの「**戻る**」ボタンまたは本体フロントパネルの「**チャンネル／音量**」ボタンを押すと 1 階層上に戻ります。「**メニュー**」ボタンを押すとチャンネル表示に戻ります。

主な仕様

受信範囲	JCSAT-2A その他	950MHz～2150MHz, 2MHz ステップ
入出力端子	アンテナ信号入力端子	高周波同軸 C15 レセプタクル （F 型コネクター）1 系統
	アンテナ信号出力端子	950～2150MHz　-6～+4dB
	音声入力端子	1 系統
	音声出力端子	1 系統
	音声出力レベル	2Vrms
	スピーカー接続端子定格出力	3.5W + 3.5W（インピーダンス 8Ω）
	バックアップ出力端子	DC5V0.5A
	光出力端子	角型 SPDIF
	FM アンテナ信号入力端子	周波数範囲 76～108MHz
	AM アンテナ信号入力端子	周波数範囲 531～1602kHz
	EXTOUT 端子	100mW（インピーダンス 32Ω）
総合	電源	DC12V
	最大電力	30W
	寸法	280mm×150mm×45mm
	質量（AC アダプタ含む）	1.2kg

注）本機の仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お手入れについて

お手入れの際は柔らかい布で拭いてください。

汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、から拭きしてください。

お願い

○アルコールやシンナーは使わないでください。

○化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表でお確かめください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置	ページ
電源が入らない	・AC アダプタがはずれていませんか。	確実に挿入する。	-
アンテナ設置時に受信できない	・LNB 電源の設定はオンになっていますか。	・メニュー画面で LNB 電源の設定を「常時オン」にする。	45
	・アンテナの向きはあっていますか。	・衛星の方向を確認し、信号レベルが最大となるようアンテナを調整する。	22
	・SPACE DiVA 衛星以外を受信していませんか。	・衛星の方向を確認し、スタンバイランプが点灯する位置にアンテナを調整する。	28
音が出ない	・接続はあっていますか。	・接続を確認する(アンプのスイッチ含む)。	19
	・SPACE DiVA 衛星以外を受信していませんか。	・衛星の方向を確認し、スタンバイランプが点灯する位置にアンテナを調整する。	28
	・アンテナコンバーターに電源を供給していますか。	・メニュー画面で LNB 電源の設定を「常時オン」にする。	45
	・受信契約をしていますか。	・受信契約をする。	11
	・ミュート(消音)状態になっていませんか。	・ミュート(消音)を解除する。	34
	・音声が常時「オフ」の設定になっていませんか。	・常時「オフ」の設定を解除する。	36
	・外部入力状態になっていませんか。	・放送受信へ切り替える。	35
	・最大音量が正しく設定されていますか。	・最大音量設定を確認する。	43
	・番組情報更新はされていますか。	・番組情報更新をする。	47
リモコンが動作しない	・乾電池の＋－が逆に入っていませんか。	・＋－を正しく入れる。	18
	・乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池と入れ替える。	18
	・キーロック状態になっていませんか。	・キーロックを解除する。	37
	・リモコン設定がオフになっていませんか。	・フロントパネルボタン操作でリモコン設定をオンにする。	44
	・コードの設定が違いませんか	・CODE1 に設定をしてください。	44

エラーメッセージ一覧

アラームコード

<table>
<tr><th></th><th>コード</th><th>内容</th><th>その後の対応は？</th></tr>
<tr><td rowspan="18">アラーム
メッセージ</td><td>A001</td><td>信号受信できません</td><td>悪天候の時は回復するまでお待ちください。そうでない時は、アンテナ入力端子の緩みがないか、外れていないか確認してください。</td></tr>
<tr><td>A002</td><td>LNB 電源がショートしました</td><td>次ページをご参照ください。</td></tr>
<tr><td>A003</td><td>CA メッセージ</td><td>使用していません。</td></tr>
<tr><td>A004</td><td>スマートカードを挿入してください</td><td>スマートカードを入れてください。</td></tr>
<tr><td>A005</td><td>スマートカードを正しく挿入してください</td><td>スマートカードの向きを確認してください。</td></tr>
<tr><td>A006</td><td>この番組の契約情報が確認できません</td><td>ご契約範囲外のチャンネルですので、番組表を確認の上、「契約されたチャンネル」を選択してください。</td></tr>
<tr><td>A007</td><td>スマートカードが挿入されていません</td><td rowspan="2">スマートカードを認識していません。一旦電源を切り、スマートカードを抜き差しします。その後再び電源を入れこの表示が出ないことを確認してください。</td></tr>
<tr><td>A008</td><td>スマートカードが認証されません</td></tr>
<tr><td>A009</td><td>スマートカードが期限切れです</td><td>次ページをご参照ください。</td></tr>
<tr><td>A010</td><td>スマートカードがペアリングされていません(1)</td><td rowspan="9">スマートカードを認識していません。一旦電源を切り、スマートカードを抜き差しします。その後再び電源を入れこの表示が出ないことを確認してください。</td></tr>
<tr><td>A011</td><td>スマートカードがペアリングされていません(2)</td></tr>
<tr><td>A012</td><td>スマートカードが停止中です。</td></tr>
<tr><td>A013</td><td>要注意指定されたスマートカードです</td></tr>
<tr><td>A014</td><td>スマートカードが無効です</td></tr>
<tr><td>A015</td><td>スマートカードの応答がありません</td></tr>
<tr><td>A016</td><td>スマートカード通信エラー</td></tr>
<tr><td>A017</td><td>ＣＡエラー(1)</td></tr>
<tr><td>A018</td><td>ＣＡエラー(2)</td></tr>
</table>

「A002」

F型コネクターの加工ミスなどによりLNB電源がショートすると、「A002」と表示されます。

この場合はACプラグをコンセントから抜き、アンテナケーブルのF型コネクター加工部分を確認・修正してください（24ページ参照）。

終わりましたらアンテナケーブルを再度接続し、ACアダプタのプラグを差し込んでください。

「A006」「A009」

アンテナ同軸ケーブルが外れていたり、電源コードが外れていて長期間受信をしていない場合は「A006」または「A009」と表示される場合があります（11ページ参照）。

最寄りの営業所、またはカスタマーセンターまでご連絡ください。

エラーコード

	コード	**内容**
エラーメッセージ	E001	フラッシュメモリーエラー
	E002	チューナーエラー

上記エラーコードが表示される場合は、ACアダプタを抜いて再度差し直してください。

それでも直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんな表示の時は？

こんな表示のときは	このような操作を行ってください。	ページ
チャンネル表示にならない、「LEVEL」表示等。	番組情報更新が正常に完了していない可能性があります。番組情報更新をしてください。	47
「CH***」と「MUTE」が交互に表示している。	ミュート（消音）の状態になっています。ミュートを解除してください。リモコンの**「消音」**ボタンまたは本体から解除できます。	34
「VOL00」と「CH***」が交互に表示している。	音量が”0”になっています。音量を上げてください。	34
スタンバイランプが緑色に点滅している。	チャンネルオフの状態になっています。この機能を使用しない場合は解除してください。	36
「KEYLO」と表示している。	キーロックの状態になっています。キーロック機能を使用しない場合は解除してください。	37
スタンバイランプがオレンジ色に点灯している。	バックアップ機能が働いています。	40

保証とアフターサービス

保　証　書

型　名		SDR-2A
品　名		*SPACE DiVA* チューナー
受信機 ＩＤ番号		（ラベルを貼付してください）
スマート カード番号		（ラベルを貼付してください）
保証期間		★お買い上げ日 年　月　日 から **１年間**
★お客様	ご住所	〒
	お名前	(ふりがな)
	TEL	市外局番 （　　）

★販売店

★印には必ず記入してあることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

キャンシステム株式会社
〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-1
TEL 03-5397-3333

● 取扱説明書、本体に印刷された注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

● 次の様な場合は保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
- 本書のご提示がない場合。
- 本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合。
- 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧及び、その他の天災による故障、並びに損傷。
- ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、並びに損傷。
- お買い上げ後の落下、及び輸送上の故障、並びに損傷。

● 本書は、日本国内に限り有効です。

修理実施日	修理内容	担当者

※ 本書に明示した期間及び条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
　修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有償にて修理いたします。
　補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後５年間保有しております。
※ 修理を依頼されるときは、必ず本機の電源プラグを抜いておいてください。
　なお不明の点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

★長年ご使用のチューナーの点検を！

愛情点検

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても、動作しないときがある。 ●使用中に異常な雑音がする。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●その他、異常・故障がある。

ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

後日のためにご記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

販売店名 ☎ （　　）

お買い上げ日 年 月 日

品　番 SDR-2A

メモ欄

番組、操作方法等に関するお問い合わせ先
キャンシステムカスタマーセンター

☎ 03－5397－9185

（受付時間：平日10:00～23:00） 2014年12月現在

法人の受信契約、工事に関するお問い合わせ先
キャンシステム営業所

別紙のキャンシステム株式会社営業所一覧をご覧ください。

キャンシステム株式会社

〒167-0032　東京都杉並区天沼 2-3-1

Rev0.23-20141125